

## **KATA PENGANTAR**

*Assalamu'alaikum Warahmatullahi Wabarakatuh*

Alhamdulillah saya panjatkan puja dan puji syukur kehadiran Allah swt yang senantiasa melimpahkan segala rahmat, taufik dan hidayah-Nya sehingga penyusun dapat menyelesaikan modul ini.

Modul ini disusun untuk memenuhi kebutuhan mahasiswa untuk memahami pola kalimat bahasa Jepang tingkat pre basic. Modul ini digunakan untuk mahasiswa jurusan pendidikan bahasa Jepang semester dua.

Teknik penyajian yang diangkat dilakukan secara terpadu, dan disesuaikan dengan kompetensi pembelajar yang diharapkan, yaitu setara dengan Tes kemampuan bahasa Jepang setara N4.

Pembahasan modul ini dimulai dengan menjelaskan tentang pembahasan pola kalimat, contoh kalimat beserta arti dan soal- soal yang dapat dikerjakan oleh mahasiswa.

Penyusun menyadari bahwa di dalam pembuatan modul masih banyak kekurangan, untuk itu penyusun sangat membuka saran dan kritik yang sifatnya membangun. Mudah-mudahan modul ini memberikan manfaat.

Yogyakarta, 28 April 2019

Penulis

## DAFTAR ISI

|                      |    |
|----------------------|----|
| KATA PENGANTAR ..... | 1  |
| DAFTAR ISI .....     | 2  |
| 1 5 か .....          | 3  |
| 1 6 か .....          | 10 |
| 1 7 か .....          | 18 |
| 1 8 か .....          | 25 |
| 1 9 か .....          | 33 |
| 2 0 か .....          | 40 |
| 2 1 か .....          | 48 |
| 2 2 か .....          | 54 |
| 2 3 か .....          | 60 |
| 2 4 か .....          | 67 |

## 15か

### ・ ぶんけい ・ ごい

1 外国りょこうの時、パスポートを もって 行かなければ なり  
ません。

一人で この にもつを <sup>はこ</sup>運ばなければ なりません。

いつも けんこうに ちゅういしなければ なりません。

<sup>としよしつ</sup>図書室の 電気は 明るく なければ なりません。

ほけん証<sup>しょう</sup>の 青年月日は 正しく なければ なりません。

先生に はなす ことばは ていねいで なければ なりません。

学生証の 写真は あたらしい 物で なければ なりません。

2 学生は けんこうほけんに 入らなければ なりません。

いいえ、入らなくても いいです。

(いいえ、入らなくても かまいません。)

きょうしつで 使う テープは あたらしく なければ なりませ  
んか。

いいえ、あたらしく なくても いいです。

サインは ローマ字で なければ なりませんか。

いいえ、ローマ字で なくても いいです。

3 学生は けんこうほけんに 入っても 入らなくても (どしから

でも) いいです。

きょうしつで 使う テープは あたらしくても あたらしく  
なくても (どちらでも) いいです。

サインは ローマ字でも ローマ字で なくても (どちらでも)  
いいです。

- 4 ビザを とる 時、大使館<sup>たいしかん</sup>に 行かなければ なりません。  
録音<sup>ろくおん</sup>する とき、いつも この テープレコーダーを 使います。  
駅を 出る 時、駅員<sup>えきいん</sup>に きっぷを わたします。  
よる、人と 会った 時、「こんばんは。」と あいさつを  
します。  
先月 わたしが にゅういんする 時、母は とても 心配<sup>しんぱい</sup>します  
た。  
でも、わたしが 元気に なった 時、母は 安心<sup>あんしん</sup>するでしょう。
- 5 うるさいから、 ラジオの 音を 小さく します。  
明るいから、電気の 光を よわく します。  
みんなで せかいを 平和<sup>へいわ</sup>に しなければ なりません。  
わたしは もっと 体を じょうぶに したいです。  
この 氷<sup>こおり</sup>を わって、半分に して ください。  
この かべの 色を もっと 明るいの に しましょう。

- 6 ゆうべは 三時間ぐらいしか ねませんでした。  
大学へ 行く 人は クラスの 十パーセントしか いません。  
ほしい 物は たくさん ありますが、お金は 少ししか ありません。
- きょうしつには ジョンさんしか いません。ほかの 人は いません。  
わたしは 安い 物しか かいません。高い 物は かいません。
- でんわは じむ室にしか ありません。ほかの へやには ありません。  
わたしは 同じ 国の 人としか けっこんしません。外国人とは けっこんしません。
- 7 わたしは きょう 八時間も べんきょうしました。  
ジュースを 五本も のんでは いけません。  
すずきさんの うちには 子どもが 十八も います。
- 8 国を 出てから、どのぐらい たちましたか。  
日本へ 来てから、もう 一年も たちました。
- 9 わたしは 毎日 母の 仕事を てつだって います。  
学生は 毎しゅう <sup>はつおん</sup> 発音の テストを <sup>う</sup> 受けて います。  
わたしは 毎年 ふじさんに <sup>のぼ</sup> 登って います。
- 10 マナさんは もう 来ましたか。  
いいえ、まだ 来て いません。

にもつは もう 送<sup>おく</sup>りました。

いいえ、まだ 送って いません。

1 1 マナさんは もう コーヒーを のみましたか。

はい、もう コーヒーを のみました。

コーヒーは もう なくなりました。もう ありません。

1 2 アリさんは もう パンを 食べましたか。

いいえ、まだ パンを 食べて いません。

パンを まだ なくなって いません。まだ あります。

## • れんしゅう

1. といと こたえ

1) 「いただきます。」は どんな 時に 言いますか。

2) 「ただいま。」は どんな 時に 言いますか。

3) 「ごめんなさい。」は どんな 時に 言いますか。

4) 「行ってまいります。」は どんな 時に 言いますか。

5) 「はじめました。」は どんな 時に 言いますか。

6) 「今日は。」は どんな 時に 言いますか。

2. かんせい

- 1) 「日本は。」を えいごで 何と 言うか \_\_\_\_\_
- 2) 先生は ジョンさんに 「年は いくつですか。」と  
\_\_\_\_\_
- 3) チンさんは 友だちに 「ありがとうございます。」と  
\_\_\_\_\_
- 4) ラタナーさんは 先生に 「よく わかりました。」と  
\_\_\_\_\_
- 5) ごはんを \_\_\_\_\_ 「ごちそうさま。」と 言いました。
- 6) 「また あいましょう。」と 言って、 \_\_\_\_\_
- 7) バスを まつ 所を 日本語で \_\_\_\_\_と 言います。
- 8) きっぷを うる 所を 日本語で \_\_\_\_\_と 言います。
- 9) りょうりを つくる所を 日本語で \_\_\_\_\_と 言います。

### 3. といと こたえ

- 1) 学生が 先生に「おはようございます。」と あいさつを しました。  
先生は 何と 言って あいさつを しますか。
- 2) 友だちが あなたに「ありがとうございます。」と おれいを 言いました。  
あなたは 友だちに 何と 言って へんじを しますか。
- 3) 「火」は くん読みでは 「ひ」と 読みます。  
おん読みでは 何と 読みますか。
- 4) 「年」は 何と 読みますか。

- 5) 「間」は 何と 読みますか。
- 6) 「木」は 「き」と 読みます。「すい」とも 読みますか。
- 7) いぬは 何と 言って なきますか。
- 8) “the day after tomorrow”を 日本語で 何と 言いますか。
- 9) “the day before yesterday”を 日本語で 何と 言いますか。
- 10) 「今日は。」を フランス語で 何と 言うか、知っていますか。

・ あたらしい ことば

- 1) ・ 生活<sup>せいかつ</sup> 体<sup>からだ</sup> けんこう けんこうほけん ほけん  
 しゅうかん 学生証<sup>がくせいしょう</sup> 外国人登録証明書<sup>がいこくじんとうろくしょうめいしょ</sup> ;ていきけん  
 してつ ていき りょうきん / パスポート<sup>ばすぽーと</sup> にもつ  
 ほけん証<sup>しょう</sup> ロー ;マ字<sup>ろまじ</sup> ビザ<sup>びざ</sup> 音<sup>おん</sup> 光<sup>ひかり</sup> せかい  
 ;氷<sup>こおり</sup> 半分<sup>はんぶん</sup> テスト<sup>てすと</sup>  
 ・ ;心配<sup>しんぱい</sup> 外出<sup>がいしゅつ</sup> / ;サイン<sup>さいん</sup> 「を」<sup>ろくおん</sup> ;録音  
 「に」にゆういん<sup>あんしん</sup> ;安心
- 2) どちらでも



- 3) 「時間が」たつ こまる 「を～に」する 「を」<sup>はら</sup>;払う  
 「を」<sup>う</sup>;受けてる / 「を」<sup>はこ</sup>;運ぶ 「」<sup>びざ</sup>;ピザを」取る  
 「を」てっだう 「」<sup>てすと</sup>;テストを」<sup>う</sup>;受ける 「を」わたす
- 4) へんな / ていねいな <sup>へいわ</sup>;平和な
- 5) <sup>じぶん</sup>自分で もっと はじめて
- 6) ～なければならない ～なくともいい ～なくともかまわない
- 7) しか (～ない) (四十パーセント) も
- 8) (四十) パーセント
- 9) <sup>からだ</sup>(体) のこと (を<sup>しんぱい</sup>心配する)

## 16か

• ぶんけい • ごい

- 1 りゅう学生は この りゅうに 入る ことができます。  
りゅう学生は この りゅうに 入ります。

しけんの 時、こたえを 思い出す ことが できませんでした。  
しけんの 時、こたえが 思い出せませんでした。

アリさんは さしみを 食べる ことができますか。  
アリさんは さしみを 食べられますか。

わたしは けさ 五時に おきる ことが できませんでした。  
わたしは けさ 五時に おきられませんでした。

もう いちど 日本へ 来る ことができますか。  
もう いちど 日本へ 来られますか。

- 2 わたしは 車を <sup>うんでん</sup>運転する ことができます。  
わたしは 車の 運転するが できます。  
わたしは 車が 運転できます。

- 3 ジョンさんは 外国語が できます。  
いもうとは タイプが できます。  
わたしは スキーや スケートが できます。

ジョンさんは 中国語が わかります。

わたしは この 字の よみ方が わかりません。

- 4 前は 日本語は ききとれませんでした、今は ききとれようになりました。

おとうとは きょねんは かずが かぞえられませんでした、  
今年 は かぞえられるようになり、かんたん な けいさん  
も できるように になりました。

- 5 もし、あした 雨が ふったら、ハイキングに 行きません。  
(もし、) あした 雨が ふらなかつたら、ハイキングに 行きま  
す。

(もし、) わたしの 家に 車が あつたら、便利<sup>べんり</sup>でしょう。

(もし、) わたしの 家に 車が なかつたら、不便<sup>べん</sup>でしょう。

(もし、) あした 天気<sup>あめ</sup>が 良<sup>よ</sup>かつたら、買<sup>か</sup>い物<sup>もの</sup>に 行<sup>い</sup>って くだ  
さい。

(もし、) あした 天気<sup>あめ</sup>が 良<sup>よ</sup>く なかつたら、買<sup>か</sup>い物<sup>もの</sup>に 行<sup>い</sup>かな  
いで ください。

(もし、) 金<sup>かね</sup>持ち<sup>もち</sup>だつたら、高<sup>たか</sup>い 物<sup>もの</sup>が 買<sup>か</sup>えます。

(もし、) 金<sup>かね</sup>持ち<sup>もち</sup>で なかつたら、高<sup>たか</sup>い 物<sup>もの</sup>が 買<sup>か</sup>えませ  
ん。

(もし、) ふくざつな もん<sup>もん</sup>だ<sup>だ</sup>い<sup>い</sup>だつたら、こたえられませ  
ん。

(もし、) ふくざつな もん<sup>もん</sup>だ<sup>だ</sup>いで なかつたら、こたえられませ  
ん。

6 りょこうに 行く 日は いつに しますか。  
りょこうに 行く 日は 来月の 十日に します。

とまる 所は どこに しますか。  
とまる 所は <sup>みんしゆく</sup> 民宿に します。

おみやげは 何に しますか。  
おみやげは にんぎょうに します。

来月の 十日に りょこうに 行く ことに します。  
<sup>みんしゆく</sup> 民宿に とまる ことに します。  
にんぎょうを 買う ことに します。

りょこうには 行かない ことに します。  
民宿には とまらない ことに します。  
にんぎょうは 買わない ことに します。

7 へやには タイプが 五だい あります。五だいとも あたらしい  
です。  
わたしたちは 二人とも びんぼうだから、家が 買えません。  
ノートと えんぴつは もう かいしました。  
はい、<sup>りょうほう</sup> 両方とも かいしました。

8 <sup>こくおう</sup> 国王と いうのは その 国の 王さまの ことです。

急行電車きゅうこうでんしゃと いうのは 小さいのは 駅に とまらない、はやい  
電車の ことです。

入学と いうのは 学校に 入る ことで、そつぎょうと いうの  
は 学校を 出る ことです。

都道府県とどうふけんとは 東京都とうきょうとと 北海道ほっかいどと おおさか府ふと 京都府きょうとふと  
四十三の 県けんの ことです。

東京二十三区とは 東京に ある 二十三の 区の ことです。

- 9 工業こうぎょうとか 商業しょうぎょうとか 日本の 産業に ついて 書いて くださ  
い。

京都きょうとには ホテルとか りょかんとか とまる 所が たくさん  
あります。

休みの 日には ゴルフとか テニスとか いろいろ 運動うんどうを  
します。

- 10 この にもつは 軽いかるから、一人で 運はこべます。  
この ざっしは 安いから、百円で 買えます。  
この 作文は みじかいから、十分ぐらいで なおせるでしょう。

\* ちょっと しつれい します。—— はい、どうぞ。  
どうですか。いらっしゃいますか。  
—— いいですね。行ってみましょう。

• れんしゅう

1. れい たばこを すう → たばこを すっています。

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1) 海で およぐ    | 海で . . . . .   |
| 2) かさを さす    | かさを. . . . .   |
| 3) シャフーを あびる | シャフーを. . . . . |
| 4) やきゅうを する  | やきゅうを. . . . . |
| 5) 犬が なく     | 犬が . . . . .   |
| 6) 電話を かける   | 電話を. . . . .   |
| 7) 本を よむ     | 本を . . . . .   |
| 8) あそこで まつ   | あそこで. . . . .  |
| 9) 空が くもる    | 空が . . . . .   |
| 10) 鳥が とぶ    | 鳥が . . . . .   |

2. れい ラタナーさんは 今 何を して いますか。

何を して いるか 知りません。

1) あの 人は 今 なにを 読んで いますか。

\_\_\_\_\_

2) 田中さんは どこに つとめて いますか。

\_\_\_\_\_

3) この字は 何と 読みますか。

\_\_\_\_\_

4) あの子は 何と 生まれましたか。

\_\_\_\_\_

5) この しゃしんは どこで うつしました。

\_\_\_\_\_

6) あの 女の 人は だれですか。

---

7) アリさんの かばんは どれですか。

---

3. れい まだ 雨が ふって いますか。

はい、まだ 雨が ふって います。

いいえ、もう 雨は ふって いません。

1) まだ あの 会社 に つとめて いますか。

はい、\_\_\_\_\_ あの 会社 に つとめて います。

2) まだ あの 会社 に つとめて いますか。

いいえ、\_\_\_\_\_ あの 会社 には つとめて います。

3) まだ 花が さいて いますか。

はい、\_\_\_\_\_ 花が さいて います。

4) もう トイレ から 出ましたか。

いいえ、\_\_\_\_\_ トイレ に 入っ て います。

5) もう この かんじは なら いましたか。

いいえ、\_\_\_\_\_ この かんじは なら っ て いません。

6) もう ひるごはんは 食べ ましたか。

いいえ、\_\_\_\_\_ ひるごはんは 食べ て いません。

4. れい しょくじを して います。

しょくじを して いる 人は だれですか。

1) あそこ に 立っ て います。

\_\_\_\_\_ だれですか。

2) みかんを 食べ て います。

\_\_\_\_\_ だれですか。

3) きのう 先生 と 話 して いました。

だれですか。

4) きのう ピアノを ひいて いました。

だれですか。

・ あたらしい ことば

1) ・ 民宿 よてい 特急電車 方法 会話 のうぎょう

漁業 お客さん 指名 ねんれい こくせき 夕食

貝 さしみ / タイプ スキー スケート かず

金持ち 用法 国王 王さま 急行電車 都道府県

県 区 工業 商業 産業 ゴルフ もんだい

・ 南いず 下田 / 東京都 北海道 おおさか府

京都府

・ 「を」 うんてん しつれい 「に・を」 記入 / 「を」

けいさん 「に」 入学 「を」 そつぎょう

2) 「を」 きめる 「が」 できる 「に」 する 「に・を」 とめ

る 「を」 にる 「を」 やく 「を」 かんがえる 「へ」

いらっしやる (行く) / 「を」 思い出す 「を」 ききとる

「を」 かぞえる 「を」 なおす

3) かんたんな 特別な ふつうの 生の / 便利な 不便

な ふくぎつな びんぼうな

4) このごろ いかが もし



- 5) (行く) ことができる (行く) ことにする ~ (ら) れる  
(とまる) ようになる (~て) くださいませんか。
- 6) ~たら (民宿) というんは・とは (工業) とか (漁業) と  
か
- 7) (食事) 代 (二人) とも

## 17か

• ぶんけい • ごい

1 山の 上から 海が 見えます。

きょうしつから <sup>うんどうじょう</sup>運動場が みえます。

となりの へやから マナさんの 声が きこえます。

<sup>みち</sup>道の <sup>む</sup>向こうから <sup>じどうしゃ</sup>自動車の はしる <sup>おと</sup>音が きこえます。

2 バラの 花は いい においが します。

あの きたない 川は くさい においが します。

この スープは 少し へんな <sup>あじ</sup>味が します。

あたらしい ピアノは いい 音が します。

3 女の 子たちが かわいい にんぎょうを <sup>つく</sup>作りました。

かわいい にんぎょうが できました。

男の 人が タクシーを <sup>と</sup>止めました。

タクシーが 止まりました。

<sup>こうじょう</sup>工場の <sup>ひと</sup>人たちが <sup>うえ</sup>上から <sup>しごと</sup>仕事を はじめました。

仕事が はじまりました。

男の 子が 上から 石を おとしました。

上から 石が おちました。

4 けさは 空が 晴<sup>は</sup>れて います。  
今日は 空が くも<sup>も</sup>っと います。  
山の 上<sup>かみ</sup>に 月<sup>つき</sup>が 出<sup>で</sup>て います。  
道<sup>みち</sup>に さいふ<sup>さいふ</sup>が おち<sup>おち</sup>て います。  
庭<sup>にわ</sup>に 青<sup>あお</sup>い 花<sup>はな</sup>が さい<sup>さい</sup>て います。  
運動場<sup>うんどうじょう</sup>に 草<sup>くさ</sup>が 生<sup>は</sup>えて います。

5 マナさんは 坂<sup>さか</sup>を 上<sup>のぼ</sup>って います。  
マナさんは かい<sup>ま</sup>だん<sup>な</sup>を 下<sup>お</sup>りて います。  
歩道<sup>ほどう</sup>を 歩<sup>ある</sup>いて ください。  
車道<sup>しゃどう</sup>を わた<sup>た</sup>っては いけ<sup>ま</sup>せん。  
あ<sup>あ</sup>ん<sup>ん</sup>ぜん<sup>ぜん</sup>な 道<sup>みち</sup>を 通<sup>とお</sup>りま<sup>ま</sup>しょう。  
特急電車<sup>とっきゅうでんしゃ</sup>は この せん<sup>せん</sup>ろ<sup>ろ</sup>を はし<sup>は</sup>ります。  
鳥<sup>とり</sup>は 空<sup>そら</sup>を とぶ<sup>とぶ</sup> こと<sup>こと</sup>が でき<sup>でき</sup>ます。  
子ども<sup>こ</sup>たちは 野原<sup>のほら</sup>を さん<sup>さん</sup>ぼ<sup>ぼ</sup> して います。  
あの 二番目<sup>にばんめ</sup>の か<sup>か</sup>ど<sup>ど</sup>を 曲<sup>ま</sup>が<sup>が</sup>って ください。  
あの 犬<sup>いぬ</sup>は 木<sup>き</sup>の おわ<sup>わ</sup>りを 回<sup>まわ</sup>って います。  
この 川<sup>かわ</sup>は せ<sup>せ</sup>まい<sup>まい</sup> 谷<sup>たに</sup>を 流<sup>なが</sup>れて います。

6 犬<sup>いぬ</sup>が こ<sup>こ</sup>ち<sup>ち</sup>ら<sup>ら</sup>へ はし<sup>は</sup>って 来<sup>き</sup>ます。  
犬<sup>いぬ</sup>が あ<sup>あ</sup>ち<sup>ち</sup>ら<sup>ら</sup>へ はし<sup>は</sup>って 行<sup>い</sup>きます。

人が へやの 中から こちらへ 出て 来ました。

人が わたしの いる へやから 外へ 出て 行きました。

7 父は 外国で おみやげを 買って 来ました。

アリさんは 国で 日本語を ならって 来ました。

わたしは 日本で おみやげを 買って かえります。

ここに にもつを おいて 行きましょう。

8 もっと <sup>はや</sup>速く <sup>ある</sup>歩いて ください。ゆっくり <sup>ある</sup>歩かないで ください。

字を 大きく 書きなさい。小さく 書いては いけません。

学生たちは 自由に 好きな ことを して います。

今日は ふじさんが きれいに 見えます。

9 兄は びょうきに なりました。それで、学校を 休みました。

兄は びょうきに なったので、学校を 休みました。

この レコードは だいぶ 古いのです。それで、いい 音が しません。

この レコードは だいぶ 古いので、いい 音が しません。

<sup>としょしつ</sup>図書室は しずかです。それで、よく べんきょうが できます。

図書室は しずかなので、よく べんきょうが できます。

10 日本語は むずかしいでしょう。(あなたも そう おもいませんか。)

その りんごは おいしいでしょう。

「いろいろな 味」

すっぱい (レモン)      あまい (おかし)      あらい (カレー)  
しおからい (海の 水)

• れんしゅう

1. れい (白い ぼうし、ジョンさん)

→ 白い ぼうしを かぶって いる ひとは ジョンさん  
です。

1) (黒い てぶくろ、山田さん)

2) (ふとい ズボン、林さん)

3) (赤い ネクタイ、チンさん)

4) (きもの、先生の おくさん)

5) (ダイヤモンドの ゆびわ、ラタナーさん)

6) (大きい サングラス、ジョンさん)

2. れい きょうは 天気が わるいですね。

ええ、空が くもって います。

1) きょうは 天気が いいですね。

ええ、空が よく \_\_\_\_\_

2) ここは きれいですね。

ええ、花が たくさん \_\_\_\_\_

3) ジョンさんは へやに いますか。

いいえ、今 たばこを 買いに \_\_\_\_\_

4) こんばんは 空が きれいですね。

ええ、星が たくさん \_\_\_\_\_

5) 雨は やみましたか。

はい、やみました。今は 日が \_\_\_\_\_

3. れい ラタナーさんは めがねを かけて いませんか。

いいえ、めがねを かけて います。

1) ジョンさんは ネクタイを しめて いませんか。

いいえ、ネクタイを \_\_\_\_\_

2) チンさんは うわぎを きて いませんか。

はい、うわぎを \_\_\_\_\_

3) アリさんは ぼうしを かぶって いませんか。

いいえ、ぼうしを \_\_\_\_\_

4) 京子さんは てぶくろを して いませんか。

はい、てぶくろを \_\_\_\_\_

5) 雪子さんは ハンドバッグを 持って いませんか。

いいえ、ハンドバッグを \_\_\_\_\_

4. れい (白い くつ、黒い ズボン)

→ アリさんは しろい くつを はき、黒い ズボンを はいて  
います。

1) (赤い ぼうし、マフラー)

- ラタナーさんは \_\_\_\_\_
- 2) (白い シャツ、赤い ネクタイ)
- ジョンさんは \_\_\_\_\_
- 3) (赤い スカート、白い セーター)
- ラタナーさんは \_\_\_\_\_
- 4) (大きい めがね、茶色の ぼうし)
- アリさんは \_\_\_\_\_
- 5) (どんな うわぎ、どんな ズボン)
- 林さんは \_\_\_\_\_

・ あたらしい ことば

- 1) ・ キャンプ 食料 食器 トランク テーブル キャンプ場 となり 席 へん はし 森 えだ 米 火 におい 湖 夕日 夕やけ ほし 草 虫 声 / 味 月 坂 かいだん 歩道 車道 野原 二番目 かど まわり せんろ 谷 レモン カレー

・ さがみ湖

・ 「を」出発 「を」用意

- 2) 「いすが」入る 「に・を」おいて行く 「を」わたる  
「を」とおる 「に」止まる 「が」見える 「に・を」止める  
「を」切る おちる やける 「においが・あじが」  
する 「ごはんが」できる 「大きく」見える 「が」きこ

える / 「を」おとす 晴れる くもる 「月が」曲がる  
「を」回る 「を」流れる

3) くさい すっぱい あまい からい しおからい

4) ゆっくり

5) それで

6) ~ので

7) わあ 行って来ます。

8) (二番) 目



## 18か

### • ぶんけい • ごい

1 象は <sup>ぞう</sup>鼻が <sup>はな</sup>長い <sup>なが</sup>です。

象は <sup>くび</sup>首が <sup>ふと</sup>太い <sup>ふと</sup>です。

象は <sup>みみ</sup>耳が <sup>おおき</sup>大きい <sup>おおき</sup>です。

<sup>あか</sup>赤ちゃんは <sup>かお</sup>かおが <sup>まる</sup>丸い <sup>まる</sup>です。

いもうとは <sup>かみ</sup>かみの <sup>け</sup>毛が <sup>なが</sup>長い <sup>なが</sup>です。

あねは <sup>ゆび</sup>ゆびが <sup>なが</sup>長い <sup>なが</sup>です。

ジョンさんは <sup>うで</sup>うでが <sup>ふと</sup>太い <sup>ふと</sup>です。

ローラさんは <sup>いろ</sup>色が <sup>ほしい</sup>ほしい <sup>ほしい</sup>です。

この <sup>き</sup>切ては <sup>かたち</sup>(かたち) <sup>さんかく</sup>三角 <sup>さんかく</sup>です。その <sup>きって</sup>切手は <sup>しかく</sup>四角 <sup>しかく</sup>です。

この <sup>き</sup>切手は <sup>いろ</sup>色が <sup>きれい</sup>きれい <sup>きれい</sup>です。

2 わたしは <sup>あたま</sup>頭 <sup>いた</sup>が <sup>いたい</sup>いたい <sup>いたい</sup>です。

わたしは <sup>き</sup>はき <sup>き</sup>気が <sup>します</sup> <sup>します</sup>。

わたしは <sup>さむけ</sup>寒 <sup>さむけ</sup>気が <sup>します</sup> <sup>します</sup>。

わたしは <sup>おなか</sup>おなかが <sup>すき</sup>すきました <sup>すきました</sup>。

わたしは <sup>のど</sup>のどが <sup>かわ</sup>かわきました <sup>かわきました</sup>。

- 4 兄は 力が あります。  
父は 用事<sup>ようじ</sup>が あります。ひまが ありません。  
あの 人は お金が あります。
- 5 小林さんは 身長<sup>しんちよう</sup>が 一メートル 七十センチ あります。  
小林さんは 体重<sup>たいじゆう</sup>が 六十キロ あります。  
わたしは 熱<sup>ねつ</sup>が 三十八度<sup>ど</sup> 五分 あります。
- 6 ぎゅうにゅうは こうちゃより えいようが あります。  
東京は おおさかより 人口が 多いです。  
マナさんは わたしより ギターが 上手です。  
マナさんは わたしより 上手に ギターが ひけます。
- 7 マナさんは 小林さんと 同じぐらい 背<sup>せ</sup>が 高いですか。  
いいえ、マナさんは 小林さんほど 背が 高く ないです。  
マナさんは 小林さんより すこし 背が 低いです。  
  
マナさんは 小林さんと 同じぐらい 太って いますか。  
いいえ、マナさんは 小林さんほど 太って いません。  
マナさんは 小林さんより 少し やせて います。  
  
マナさんは 小林さんと 同じぐらい 速<sup>はや</sup>く はしれますか。  
いいえ、マナさんは 小林さんほど 速く はしれません。  
マナさんは 小林さんより 少し おそいです。
- 8 東京と 北海道<sup>ほっかいどう</sup>を くら 比べて みましょう。東京と 北海道 (と)

では どちらが 人口が 多いですか。

東京の 方が だいぶ 人口が 多いです。

スーパーマーケットと デパート (と) では どちらが 安く  
買えますか。

スーパーマーケットの 方が 安く 買えます。

9 肉と 魚 (と) では どちらが えいようが ありますか。

どちらも えいようが あります。

中国語と 日本語 (と) では どちらが むずかしいですか。

どちらも むずかしいです。

ぎんざと しぶや (と) では どちらが にぎやかですか。

どちらも にぎやかです。

10 日本では ふじさんが 一番 高いです。

世界では 中国が 一番 人口が 多いです。

11 わたしは はが いたいです。

では、すぐ お医者さんの 所へ 行った 方が いいです  
ね。あまい 物は 食べない 方が いいでしょう。

わたしは 目まいが します。

では、すぐ 横に なった 方が いいですね。

動かない 方が いいでしょう。

1 2 外国へ 行く 時、パスポートが いらいます。

外国へ 行く 時、パスポートが ひつようです。

外国へ 行く 時、いる 物は パスポートです。

外国へ 行く 時、ひつような 物は パスポートです。

1 3 わたしは、寒<sup>さむけ</sup>気が します。それに、はき<sup>き</sup>気も します。

わたしは、寒<sup>さむけ</sup>気も するし、はき<sup>き</sup>気も します。

あの人は、手<sup>て</sup>足<sup>あし</sup>が 不自由<sup>ふじゆう</sup>です。それに、目も わるい<sup>き</sup>です。

あの人は、手<sup>て</sup>足<sup>あし</sup>も 不自由<sup>ふじゆう</sup>だし、目も わるい<sup>き</sup>です。

1 4 きれいな ようふくを 着<sup>き</sup>ていますね。どこかへ 行く<sup>き</sup>のですか。

これから パーティーへ 行く<sup>き</sup>のです。

マナさんが いませんね。どうして いない<sup>き</sup>のですか。

なりたまで。友だちを ひかえに 行って いる<sup>き</sup>のです。

かおいろが わるい<sup>き</sup>ですね。あたまが いない<sup>き</sup>のですか。

いいえ、あたまが いたい<sup>き</sup>のでは ありません。はが いたい<sup>き</sup>ない<sup>き</sup>のです。

あまり おかしを 食べませんね。さらいな<sup>き</sup>のですか。

いいえ、さらいな<sup>き</sup>のでは ありません。はが いたい<sup>き</sup>のです。

1 5 一しゅうかんに 二回<sup>にかい</sup>か 三回<sup>さんかい</sup> かぞくに てがみを 書きます。

四年に 一度<sup>いちど</sup> オリンピックが あります。

一か月に 一度ぐらいしか そうじを しません。

\* 心配<sup>しんぱい</sup>は ありません。お大事<sup>だいじ</sup>に。—— ありがとうございます。

• れんしゅう

1. わくうめ

1) A: この へやは さむいですか。

B: あ、まだが  いますよ。そして ください。

2) A: ビールを 買いましたか。

B: ええ。もう れいぞうこの 中に  あります。

3) A: きょうしつの とが あきませんよ。

B: まだ かぎが  いますね。

4) A: あなたの 車は どこですか。

B: そこに  つけました。

2.  電気は つけました。

→ 電気が つけて あります。

1) 名まえを 書きました。名まえが.....

2) 本を なべれました。本が.....

3) 車を 止めました。車が.....

4) 花を さしました。花が.....

5) 地図を はりました。地図が.....

6) パンを 買いました。パンが.....

7) そうじを しました。そうじが.....

8) おゆを わかりました。 おゆが.....

3. れい 電気を つけました。

→ 電気が つけました。

→ 今 電気が ついて います。

1) 火を けしました。 火が.....

今 火が.....

2) 戸を あけました。 戸が.....

今 戸が.....

3) まどを しめました。 まどが.....

今 まどが.....

4) 車を 止めました。 車が.....

今 車が.....

5) かぎを かけました。 かぎが.....

今 かぎが.....

6) ガラスを わりました。 ガラスが.....

今 ガラスが.....

7) お金を 入りました。 お金が.....

今 お金が.....

8) 本を ならべました。 本が.....

今 本が.....

4. といと こたえ

1) 今、あなたの つくえの 上に 何が おいて ありますか。

2) きょうしつの かべに 何が かかって いますか。

3) 三たす 四は いくつですか。

4) 四かける 五は いくつですか。

・ あたらしい ことば

- 1) ・ おなか <sup>ねつ</sup>熱 <sup>きんじよ</sup>近所 <sup>か</sup>せんもん家 <sup>め</sup>かngoふ <sup>目まい</sup>目まい  
<sup>ぼたん</sup>ボタン <sup>だい</sup>台 <sup>さんどいっち</sup>サンドイッチ <sup>ぐあい</sup>ぐあい <sup>おかゆ</sup>おかゆ / <sup>ぞう</sup>象  
<sup>はな</sup>鼻 <sup>くび</sup>首 <sup>みみ</sup>耳 <sup>け</sup>かみの毛 <sup>ゆび</sup>ゆび <sup>うで</sup>うで <sup>あし</sup>足 <sup>かたち</sup>かたち  
<sup>さんかく</sup>三角 <sup>しかく</sup>四角 <sup>あたま</sup>あたま <sup>てあし</sup>手足 <sup>きもち</sup>気持ち <sup>はき気</sup>はき気 <sup>せいき</sup>寒気  
<sup>のど</sup>のど <sup>ちから</sup>力 <sup>ようじ</sup>用事 <sup>ひま</sup>ひま <sup>しんちよう</sup>身長 <sup>たいじゆう</sup>体重 <sup>えいよう</sup>えいよう <sup>じんこう</sup>人口  
<sup>せ</sup>背 <sup>スーパーマーケット</sup>スーパーマーケット <sup>かおいる</sup>かおいる <sup>オリンピック</sup>オリンピック <sup>むね</sup>むね  
かた <sup>せなか</sup>背中  
・ <sup>ちゆうおうびやういん</sup>中央病院 <sup>かとういん</sup>かとう医院 / <sup>しぶや</sup>しぶや <sup>なりた</sup>なりた  
・ <sup>しょくぜん</sup>食前 <sup>しょくど</sup>しょくど

2) どちら (がいいか) どちらも

3) 「ねつが」ある 「を」<sup>はず</sup>外す 「横に」<sup>よこ</sup>なる 「を」やめる  
「が」いる / 「おなかが」すく 「のどが」かわく 太る  
やせる 「と・を」<sup>くら</sup>比べる

4) いたい だるい <sup>かた</sup>固い やわらかい / <sup>まる</sup>丸い

- 5) ひつような / 不自由な
- 6) さっき    すぐ    ずっと (近い)
- 7) それに
- 8) (行<sup>ぎょう</sup>っ) た方<sup>ほう</sup>がいい    (行<sup>い</sup>か) ない方<sup>ほう</sup>がいい    (いた<sup>い</sup>たい) のだ
- 9) より (大<sup>おお</sup>きい)    ほど (一<sup>い</sup>ない)    (こ<sup>こう</sup>ちら) の方<sup>ほう</sup>が  
(一<sup>いち</sup>にち) に (三<sup>さん</sup>かい)    (と) 同<sup>おな</sup>じぐらい    (だ<sup>だ</sup>るい) し (目<sup>め</sup>ま  
いもする)
- 10) どうかしましたか    それはいけませんね    そうですか  
お大<sup>だいじ</sup>事に
- 11) ~度<sup>ど</sup>    ~分<sup>ぶん</sup>    ~回<sup>かい</sup>



## 19か

### • ぶんけい • ごい

- 1 わたしは 兄が 二人 おります。  
よしださんは おくさんが あります。
- 2 兄は 一度 けがを して、手術<sup>しゅじゅつ</sup>を した ことが あります。  
外<sup>そと</sup>は何度<sup>なんど</sup>も 重<sup>おも</sup>い 病<sup>びょう</sup>気<sup>き</sup>を した ことが あります。  
マナさんは 日本へ 来てから、一度だけ けいさつへ 行った  
ことが あります。  
先生は まだ 一度しか わたしを はめた ことが ありませ  
ん。  
母は まだ 一度も、弟<sup>おとうと</sup>を しかった ことが ありません。  
  
わたしは さしみを 食べた ことが あります。日本の おさけ  
を のんだ ことも あります。しかし、まだ 日本人の 家に  
とまった ことは ありません。
- 3 わたしは、ときどき かぜを ひく ことが あります。  
弟は 朝<sup>あさ</sup>ねぼうを する ことが あります。  
  
マナさんは このごろ 学校へ 来ない ことが あります。  
タンさんは ときどき。朝ご飯を 食べない ことが あります。
- 4 日が 出ると、あつく なります。

この <sup>みち</sup>道を まっすぐ <sup>い</sup>行くと、<sup>しんごう</sup>信号が あります。

この <sup>さか</sup>坂を <sup>お</sup>下りて、<sup>わた</sup>はしを <sup>わた</sup>渡ると、<sup>かいがん</sup>海岸に <sup>で</sup>出ます。

体が <sup>よわ</sup>弱いと、<sup>しごと</sup>仕事が できません。

天気が <sup>いい</sup>いいと、この <sup>へん</sup>へんから <sup>おじさん</sup>おじさんが <sup>よく</sup>よく 見えます。

えが <sup>か</sup>下手だと、<sup>が</sup>画家には <sup>な</sup>なれません。

<sup>どくしん</sup>独身だと、<sup>じゆう</sup>自由に <sup>お</sup>お金が <sup>つか</sup>使えます。

<sup>いい</sup>いい 天気が <sup>いい</sup>いいと、<sup>きもち</sup>気持ちが <sup>いい</sup>いいです。

5 弟は <sup>おんがく</sup>いつも <sup>おんがく</sup>音楽を <sup>き</sup>聞きながら、<sup>べんきょう</sup>べんきょうします。

学生たちは <sup>メモ</sup>メモを <sup>とり</sup>とりながら、<sup>はな</sup>話を <sup>き</sup>聞いて います。

<sup>ちや</sup>お茶を <sup>のみ</sup>のみながら、<sup>はな</sup>話を <sup>し</sup>しましょう。

<sup>しょくじ</sup>食事を <sup>し</sup>しながら、<sup>テレビ</sup>テレビを <sup>み</sup>見ては <sup>い</sup>いけません。

6 本が <sup>ニ</sup>ニさつ あります。どちらが <sup>あなた</sup>あなたの 本ですか。

——こちらが <sup>わたし</sup>わたしの 本です。

どれが <sup>あなた</sup>あなたの <sup>かさ</sup>かさですか。——あれが <sup>わたし</sup>わたしの <sup>かさ</sup>かさです。

どこが <sup>いりぐち</sup>入口ですか。——ここが <sup>いりぐち</sup>入口です。あそこが <sup>でぐち</sup>出口です。

どんな <sup>いえ</sup>家が <sup>いい</sup>いいですか。——<sup>ひろ</sup>広くて、<sup>あかるい</sup>明るい <sup>いえ</sup>家が <sup>いい</sup>いいです。

7 どうして <sup>がっこう</sup>学校を <sup>やす</sup>休んだのですか。

かぜを ひいたから、学校を 休んだのです。  
かぜを ひいたからです。

兄は きのう しぶやで 本を 買いました。  
え、どこですか。ぎんぎですか。  
いいえ、兄が 本を 買った 所は しぶやです。ぎんぎでは  
ありません。

兄が 本を 買ったのは しぶやです。ぎんぎでは ありません。  
兄が しぶやで 買ったのは 本です。ノートでは ありません。  
兄が しぶやで 本を 買ったのは きのうです。おとといでは  
ありません。

<sup>ぶんぽう</sup>  
文法は むずかしいです。

むずかしいのは <sup>ぶんぽう</sup> 文法です。<sup>はつおん</sup> 発音では ありません。

兄は テニスが 好きです。  
兄が 好きなのは テニスです。ピンポンでは ありません。

日よう日は 休みです。  
休みなのは 日よう日です。土よう日では ありません。

9 どうして 学校を 休んだのですか。

学校を 休んだのは どうしてですか。

学校を 休んだのは かぜを ひいたからです。学校へ  
来たく なかったからでは ありません。

京都へ 行きたいのは なぜですか。

京都へ 行きたいのは 古い お守が 多いからです。

やきゅうが 好きなのは なぜですか。

やきゅうが 好きなのは おもしろい スポーツだからです。

10 いっしょに <sup>しょくじ</sup>食事を しませんか。

いっしょに <sup>えいが</sup>映画を 見に 行きませんか。

\* どうですか。いっしょに 行きませんか。——いいですね。行き  
ましょう。

・ れんしゅう

1. わくうめ

京子: アリさんは しょうらい 何を する つもりですか。

アリ: わたしは せんせいに と 思って  
います。京子さんは どうですか。会社に   
つもりですか。

京子: いいえ、そのつもりは 。びょういん  
で はたらこうと 。

2.  れい 東京へ 行く つもりですか。

はい、行こうと 思って います。

- 1) 大学の しけんを うける つもりですか。  
はい、\_\_\_\_\_と 思って います。
- 2) あの本を 買う つもりですか。

はい、\_\_\_\_\_と 思っ て います。

- 3) どこに つとめる つもりですか。

銀行に \_\_\_\_\_と 思っ ています。

- 4) あの人が 書いた 本を 読む つもりですか。

はい、\_\_\_\_\_と 思っ て います。

- 5) あしたは あそぶ つもりですか。

はい、\_\_\_\_\_と 思っ て います。

- 6) だれに たのむ つもりですか。

ラタナーさんに \_\_\_\_\_と 思っ て います。

3.  れい 東京へ 行く つもりですか。

はい、行こうと 思っ ています。

- 1) 海で \_\_\_\_\_ つもりですか。

はい、およごうと 思っ て います。

- 2) 新聞記者に \_\_\_\_\_ つもりですか。

はい、なろうと 思っ て います。

- 3) 大学で \_\_\_\_\_ つもりですか。

はい、べんきょうしようと 思っ て います。

- 4) 何時に \_\_\_\_\_ つもりですか。

八時に こようと 思っ て います。

- 5) どのくらい日本語を \_\_\_\_\_ つもりですか。

六か月ぐらい ならおうと 思っ ています。

- 6) あしたは 早く \_\_\_\_\_ つもりですか。

はい、早く おきようと 思っ て います。

4.  れい 銀行に つとめたいですか。

いいえ、銀行には つとめたく ないです。

- 1) 医者に なりたいですか。  
いいえ、 \_\_\_\_\_
- 2) 京子さんと けっこん したいですか。  
いいえ、 \_\_\_\_\_
- 3) だれかと 話を したいですか。  
いいえ、 \_\_\_\_\_
- 4) ラタナーさんは 休みたがって いますか。  
いいえ、 \_\_\_\_\_
- 5) ラタナーさんは 何か 食べたがって いますか。  
いいえ、 \_\_\_\_\_

• あたらしい ことば

- 1)
 

|    |   |                            |                            |                            |                          |                            |                            |     |
|----|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|----------------------------|-----|
| 1) | • | <small>きょうだい</small><br>兄弟 | <small>ちやうなん</small><br>長男 | <small>すえ こ</small><br>末っ子 | りょうしん                    | いなか                        | <small>むら</small><br>村     |     |
|    |   | <small>どくしん</small><br>独身  | <small>ぎやうじ</small><br>行事  | <small>のうか</small><br>農家   | <small>とかい</small><br>都会 | <small>びるじやう</small><br>晝場 | ぼんおどり                      | おどり |
|    |   | ／ けが                       | <small>しゆじゆつ</small><br>手術 | けいさつ                       | かぜ                       | <small>あさ</small><br>朝ねぼう  | ひ                          |     |
|    |   | <small>しんごう</small><br>信号  | <small>かいがん</small><br>海岸  | <small>いりぐち</small><br>入口  | <small>でぐち</small><br>出口 | しんるい                       | <small>そふ</small><br>祖父    | 祖母  |
|    |   | おじ                         | おば                         | いところ                       | かない                      | <small>しゆじん</small><br>主人  | むすこ                        | むすめ |
|    |   | おい                         | めい                         | おじさん                       | おばさん                     | むすこさん                      |                            |     |
|    |   | むすめさん                      | おいごさん                      | めいごさん                      | おくさん                     |                            | <small>しゆじん</small><br>ご主人 |     |
|    |   | <small>ちやうじよ</small><br>長女 |                            |                            |                          |                            |                            |     |
|    |   | •                          | よこはま                       |                            |                          |                            |                            |     |
|    |   | •                          | おぼん                        | <small>しやうがつ</small><br>正月 |                          |                            |                            |     |
- 2)
 

|    |     |                           |    |       |
|----|-----|---------------------------|----|-------|
| 2) | 何度も | <small>いちど</small><br>一度も | なぜ | どのように |
|----|-----|---------------------------|----|-------|

- 3) 「に」 いらっしゃる (いる) 「農業<sup>のうぎよう</sup>を」 やる 「先生<sup>せんせい</sup>を」 す  
 る 育<sup>そだ</sup>つ こむ 「に」 集<sup>あつ</sup>まる 「広場<sup>ひろば</sup>に」 出<sup>で</sup>る 「を」 お  
 どる / 「病<sup>びよう</sup>気<sup>き</sup>を」 する 「を」 ほめる 「を」 しかる  
 「かぜ<sup>あさ</sup>を」 ひく 「朝<sup>あさ</sup>ねぼう<sup>を</sup>」 する
- 4) たいてい 前<sup>まえ</sup>から まっすぐ いっぱい / 一<sup>いち</sup>度<sup>ど</sup>
- 5) (する・した) ことがある (する) からだ
- 6) (なる) と (あれ) が (あねだ) (うたい) ながら
- 7) え ほら
- 8) ご (かぞく)

## 20か

### • ぶんけい • ごい

1 わたしは<sup>だいがくいん</sup>大学院で<sup>とうようし</sup>東洋史を<sup>せんもん</sup>専門にべんきょうするつもりです。

わたしは、<sup>きこくご</sup>帰国後、<sup>しんぶんしゃ</sup>新聞社か<sup>ほうそうきょく</sup>放送局ではたらくつもりです。

あなたは<sup>がいく</sup>外国に<sup>りゅうがく</sup>留学するつもりですか。

はい、そのつもりです。

はい、そのつもりで、外国語をべんきょうしています。

わたしは<sup>だいがくいん</sup>大学院には<sup>すす</sup>進まないつもりです。

わたしは<sup>せんもん</sup>専門を<sup>か</sup>変えないつもりです。

2 わたしは、こくさいもんだいについて合文を書こうと思っています。

(わたしは)あしたにこくさい<sup>でんわ</sup>電話を<sup>おも</sup>かけようと ; と思っています。

(わたしは)<sup>だいがくいん</sup>大学院で<sup>せいようし</sup>西洋史を<sup>せんもん</sup> ; 専門にべんきょうしようと ; <sup>おも</sup>思っ  
ていま

す。

(わたしは)年また日本へ来ようと思っています。

わたしは、<sup>えいご</sup>英語をべんきょうしていますが、<sup>つうやく</sup>通訳になろうとは<sup>おも</sup>思っ  
ていません。

わたしは、<sup>まりあ</sup>マリアさんが<sup>す</sup>好きですが、<sup>けっこん</sup>結婚しようとは思ってませ



ん。

- 3 何のために、コンピュータを買いましたか。

統計の資料を作るために、買いました。

アリさんは、人口もんだいについて研究するために、来日しました。

わたしは、父の会社を経営するために、な学をべんきょうしなければなりません。

サングラスは、目をまもるために、使います。

はさみは、かみを切るために、使います。

けしゴムは、字をけすために、使います。

はしやスプーンは、ご飯を食べるために、使います。

- 4 英語をべんきょうするために、このじしょを買いました。

英語のべんきょうのために、このじしょを買いました。

発音をれんしゅうするために、テープレコーダーを買うつもりです。

発音のれんしゅうのために、テープレコーダーを買うつもりです。

- 5 だれのために、この洋服を買いましたか。

むすめのために、この洋服を買いました。

留学生は、国のために、べんきょうしています。

6 ナイフとフォークを使って肉を切ってください。

こののりを使ってカードに絵をはりなさい。

このマッチを使って火をつけましょう。

かみと糸いとを使ってにんぎょうを作りました。

何度もくりしてテープを聞いた方がいいです。

弟は、うでくを組んでかんがえています。

兄あには、横よこになっておんがくほうそうの放送を聞いています。

7 わたしは、つかれたので、つやの中をかたづけしないで、ねました。

わたしは、つかれたので、へやの中をかたづけずに、ねました。

祖父そふは、めがねをかけないで、テレビてれびの画面がめんの小さい字を見ています。

祖父は、めがねをかけずに、テレビの画面の小さい字を見ています。

あの人は、かさをささないで歩いています。

あの人は、かさをささずに歩いています。

ゆうべ、アリさんは、ねないで、べんきょうしました。

ゆうべ、アリさんは、わずに、べんきょうしました。

8 わたしは、京都のような古い町まちに住すんでみたいです。

病気びょうきの時は、おかゆのようなやわらかい物を食べてください。

わたしは、小林さんのように上手に外国語を話したいです。  
わたしは、マナさんのようにがんばって仕事をするつもりです。  
この町は、しんじゅくのように車が多いです。このような町では車  
に気をつけなければなりません。

9 今、父はりょこう中です。

小林さんは、工作中なので、会えません。

うらの通りは、工事中だから、車も人も通れません。

使用中のコンピュータにさわらないでください。

運転中におさけを飲んではいけません。

10 暑くありませんか。

ええ、暑いです。

いいえ、多くありません。だいじょうぶです。

あたまがいたくありませんか。

ええ、ちょっといたいです。

いいえ、いたくありません。心配しないでください。

\* ごめんください。—— よくいらっしやいました。

おやすみなさい。—— おやすみなさい。

失礼します。

|              |                |                |                  |               |                  |
|--------------|----------------|----------------|------------------|---------------|------------------|
| がっこう<br>「学校」 | しょうがっこう<br>小学校 | ちゅうがっこう<br>中学校 | こうとうがっこう<br>高等学校 | だいがく<br>大学    | だいがくいん<br>大学院    |
| ひと<br>「人」    | しょうがくせい<br>小学生 | ちゅうがくせい<br>中学生 | こうこうせい<br>高校生    | だいがくせい<br>大学生 | だいがくいんせい<br>大学院生 |

• れんしゅう

1. れい えんぴつは 字を ( ) 使います。  
えんぴつは 字を ( 書くのに ) 使います。
- 1) やかんは おゆを ( ) 使います。
  - 2) せっけんは 顔や 手を ( ) 使います。
  - 3) じしょは わからない ことばを ( ) 使います。
  - 4) ちゃわんは ごはんを ( ) 使います。
  - 5) ようふくだんすは ようふくを ( ) 使います。
  - 6) ふうとうは 手紙を ( ) 使います。
  - 7) パイプは たばこを ( ) 使います。
  - 8) しょうゆや しおは あじを ( ) 使います。

2. れい この本は 読みましたか。

はい、ぜんぶ 読んで しまいました。(読む)

- 1) れいぞうこの 中の りんごを 出してください。  
もう ありません。あの人が \_\_\_\_\_ (食べる)
- 2) せんたくは もう おわりましたか。  
はい、もう ぜんぶ \_\_\_\_\_ (あらう)
- 3) 手紙は もう 書きましたか。  
はい、もう \_\_\_\_\_ (書く)
- 4) しあいにかちましたか。  
いいえ、ざんねんですが、\_\_\_\_\_ (まける)
- 5) ここに あった。さらは どうしましたか。  
きのう \_\_\_\_\_ (わる)
- 6) もう しゅくだいを やりましたか。  
はい、もう しゅくだいを ぜんぶ \_\_\_\_\_ (やる)

3. 「つい」または「うっかりして」を ( ) に 入れなさい。

- 1) ゆうべは さびしくて ( ) おさけを のみすぎて  
しまいました。
- 2) 今日は タクシーで 会社へ いきましたが ( ) タク  
シーに かさを わすれてしまいました。
- 3) おかしくて ( ) わらって しまいました。
- 4) ( ) しゅくだいを わすれて きました。
- 5) ゆうべ しゅくだいを する つもりでしたが ( )  
テレビを 見てしまいました。

4. れい この おさけは おいしいですよ。

そうですか。ちょっと のんで みます。(のむ)

- 1) この おかしは、おいしいですよ。  
そうですか。ちょっと \_\_\_\_\_(食べる)
- 2) この ぼうしは いいですよ。  
そうですか。ちょっと \_\_\_\_\_(かぶる)
- 3) この 本は おもしろいですよ。  
そうですか。ちょっと \_\_\_\_\_(読む)
- 4) ぎんこうは 今日 何時に しまりますか。  
わかりません。ちょっと電話をかけて \_\_\_\_\_(きく)
- 5) もう びょういんへ 行きましたか。  
いいえ、まだです。あした \_\_\_\_\_(行く)

5. れい この本は おもしろそうです。

→ これは おもしろそうな 本です。

- 1) この りょうりは おいしそうです。

2) その しけんは むずかしそうです。

3) このラジオはよさそうです。

・ あたらしい ことば

- 1) ・ <sup>そつぎょうろんぶん</sup>卒業論文 <sup>とうけい</sup>統計 <sup>しりょう</sup>資料 <sup>パソコン</sup>パソコン <sup>ろんぶん</sup>論文 <sup>けいえいがく</sup>経営学  
<sup>だいがくいん</sup>大学院 <sup>しょうしゃ</sup>商社 <sup>みんかん</sup>民間 <sup>せいふ</sup>政府 <sup>けんきゅうじよ</sup>研究所 <sup>かんけい</sup>かんけい  
もくてき <sup>かけはし</sup>かけ橋 <sup>おもて</sup>表 <sup>とお</sup>通り <sup>き</sup>気 / <sup>とうようし</sup>東洋史 <sup>しんぶんしゃ</sup>新聞社  
<sup>ほうそうきょく</sup>放送局 <sup>せいようし</sup>西洋史 <sup>こくさいもんだい</sup>こくさいもんだい <sup>サングラス</sup>サングラス <sup>はさみ</sup>はさみ  
<sup>はしゴム</sup>はしゴム <sup>はし</sup>はし <sup>スプーン</sup>スプーン <sup>ベッド</sup>ベッド <sup>ナイフ</sup>ナイフ <sup>フォーク</sup>フォーク  
<sup>のり</sup>のり <sup>マッチ</sup>マッチ <sup>いと</sup>糸 <sup>がめん</sup>画面 <sup>うら</sup>うら <sup>しょうがくせい</sup>小学生 <sup>ちゅうがくせい</sup>中学生  
<sup>こうこうせい</sup>高校生 <sup>だいがくせい</sup>大学生 <sup>だいがくいんせい</sup>大学院生  
・ <sup>しょうらい</sup>将来  
・ 「に」<sup>きこく</sup>帰国 「に」<sup>りゅうがく</sup>留学 / 「を」<sup>けいえい</sup>経営 「を」<sup>けんきゅう</sup>研究  
<sup>らいにち</sup>来日 「を」<sup>ほうそう</sup>放送 <sup>こうじ</sup>工事 「を」<sup>しやう</sup>使用

2) こんな そんな あんな  
このような そのような あのような どのよう

3) 「を」かたづける 「に」<sup>すす</sup>進む はたらく / 「を」<sup>か</sup>変える  
「を」まもる 「うでを」<sup>く</sup>組む 「を」<sup>かえ</sup>り返す 「に・を」  
はる 「かさを」さす

- 4) いっしょうけんめいに 特<sup>とく</sup>に また できたら
- 5) (食<sup>た</sup>べ) ようと思<sup>おも</sup>う・(行<sup>い</sup>こ) うと思<sup>おも</sup>う (する) つもりだ
- 6) (書<sup>か</sup>く) ために (使<sup>つか</sup>わ) ないで (べんきょう) せずに  
(進<sup>すす</sup>ま) ずに (商<sup>しょう</sup>社<sup>しゃ</sup>) のような (ところ) (数<sup>すう</sup>学<sup>がく</sup>) を専門  
に (べんきょうする)
- 7) ごめんください よくいら<sup>s</sup>つはいました おやすみなさい
- 8) あれ
- 9) (べんきょう) 中<sup>ちゅう</sup> (だ)

## 21か

• ぶんけい • ごい

1 雨が降れば、外出しません。

雨が降らなければ、外出します。

高ければ、買いません。

高くなければ、買います。

その道が安全なら(ば)、通ります。

その道が安全でなければ、通りません。

いい条件なら(ば)、その会社につとめます。

いい条件でなければ、その会社につとめません。

2 べんきょうしても、せいせきが上がらないでしょう。

べんきょうしなくても、せいせきが上がるでしょう。

いそがしくても、かぞくにてがみを書きます。

いそがしくなくても、かぞくにてがみを書きません。

この仕事は、らくでも、やりたくありません。

この仕事は、らくでなくても、やりたいです。

いい天気でも、さんぽに行きません。

いい天気でもなくとも、さんぽに行きます。



- 3 らいしゅう、北海道へ行きたいと思っています。  
北海道へ行くなら、ひこうきが便利ですよ。  
それなら、ひこうきが便利ですよ。

<sup>なつ</sup>夏休みには国へ帰らないつもりです。

国へ帰らないなら、わたしの家へあそびに来てください。  
それなら、わたしの家へあそびに来てください。

午後はじゅぎょうがありません。

じゅぎょうがないなら、いっしょに映画を見に行きましょう。  
それなら、いっしょに映画を見に行きましょう。

- 4 四時になったら、わたしの所へ来てください。  
じゅぎょうに出たら、<sup>あと</sup>後でよく<sup>ふくしゅう</sup>復習しなさい。  
<sup>りょうり</sup>料理ができたなら、すぐ食べましょう。

- 5 あしたは<sup>たいふう</sup>台風が来るかもしれません。(来ないかもしれません。)  
来年は<sup>ぶつ</sup>物価が下がるかもしれません。(下がらないかもしれません。)  
会員の予定が変わるかもしれません。(変わらないかもしれません。)

この<sup>こた</sup>答えは正しいかもしれません。(正しくないかもしれません。)

このじよの説明は不十分せつめい ふじゅうぶんかもしれません。(不十分ふじゅうぶんではないかもしれません。)

- 6 毎日じゅぎょうの予習をするのは大変です。  
なみが高い時、海で泳ぐのは危険です。  
りょこうに行けないのはざんねんです。
- 7 これからパーティーをしたいのですが、いすが足りません。どうしたらいいでしょうか。  
そうですね。じむ空から借りたらいいでしょう。

理科系の大学に進みたいのですが、どなたに相談すればいいですか。

そうですね。小林先生に相談してみてください。

• れんしゅう

1. れい

テーブルの 上に おいしそうな りんごが あります。(おいしい)

ジョンさんは おいしそうに りんごを 食べています。(おいしい)

- 1) あの人は \_\_\_\_\_ かおをしています。(さびしい)
- 2) 先生は \_\_\_\_\_ はたらいています。(いそがしい)
- 3) 子どもたちは \_\_\_\_\_ あそんでいます。(たのしい)
- 4) ジョンさんは \_\_\_\_\_ 体をしています。(じょうぶ)
- 5) あの 学生は \_\_\_\_\_ かおをしています。(まじめ)

- 6) あそこに \_\_\_\_\_ 木があります。(たおれる)
- 7) あそこに \_\_\_\_\_ ちゃわんがあります。(われる)
- 8) わたしは \_\_\_\_\_ になりました。(ころぶ)
- 9) 男の子は \_\_\_\_\_ かおをしています。(食べたい)
- 10) かれは \_\_\_\_\_ かおをしています。(うれしくない)

2. れい いつ行きますか。いつ行くのですか。

- 1) あなたは どんな 仕事に つきますか。  
あなたは どんな 仕事に \_\_\_\_\_
- 2) 夏休みは いつ はじまりますか。  
夏休みは いつ \_\_\_\_\_
- 3) おとうさんは 何を していますか。  
おとうさんは 何を \_\_\_\_\_
- 4) その 話は だれから ききましたか。  
その 話は だれから \_\_\_\_\_
- 5) きのう どんな えいがを 見ましたか。  
きのう どんな えいがを \_\_\_\_\_
- 6) きょうは まだ かえりませんか。  
きょうは まだ \_\_\_\_\_

3. れい 先生は「わたしは いそがしいです。」と 言いました。

先生は いそがしいそうです。

- 1) 京子さんは「わたしは さびしいです。」と 言いました。  
\_\_\_\_\_
- 2) 先生は「わたしの 作った りょうりは おいしいです。」と 言いました。  
\_\_\_\_\_

3) アリさんは「わたしは けっこんした くないです。」と 言いました。

---

4) チンさんは「わたしは げんきです。」と 言いました。

---

5) 先生は「わたしは じょうぶです。」と 言いました。

---

6) 林さんは「わたしの へやは きれいでは ありません。」と 言いました。

---

4. れい 天気よほう:「きょうは 雪がふります。」

天気よほうに よる ときょうは 雪が ふるそうです。

1) 天気よほう:「あしたは 気温が 下がります。」

---

2) 先生:「来週 しけんが あります。」

---

3) 新聞:「日本が しあいにかちました。」

---

4) 先生:「ジョンさんは きょう 来ません。」

---

5) ジョンさん:「れいぞうこに ビールが 入れて あります。」

---

• あたらしい ことば

- 1) ・ 会議<sup>かいぎ</sup> 専門書<sup>せんもんしよ</sup> 文科系<sup>ぶんかけい</sup> しゅくご 意味<sup>いみ</sup> 書店<sup>しよてん</sup> /  
 せいせき 条件<sup>じょうけん</sup> 台風<sup>たいふう</sup> 物価<sup>ぶつか</sup> なみ 理科系<sup>りかけい</sup>  
 ・ 「を」学習<sup>がくしゅう</sup> 「を」説明<sup>せつめい</sup> / 「を」復習<sup>ふくしゅう</sup> 「を」予習
- 2) 「いすに」かける 「を」続ける<sup>つづ</sup> / 上がる<sup>あ</sup> 「じゅうぎょ  
 うに」出る<sup>で</sup> 下がる<sup>さ</sup> 変わる<sup>か</sup> たりる
- 3) 苦しい<sup>くる</sup> くわしい
- 4) 十分な<sup>じゅうぶん</sup> / きげんな 不十分な<sup>ふじゅうぶん</sup> ざんねんな
- 5) それまで 約<sup>やく</sup> もちろん どうしたら / どうすれば
- 6) それでは / それなら
- 7) ～かもしれません ～たらいい / ～ばいい
- 8) (～のこと)で (相談する)<sup>そうだん</sup> (終われ)ば<sup>お</sup> (安全)なら<sup>あんぜん</sup>  
 (ば) (おそく)ても (使う)なら<sup>つか</sup>
- 9) そうですね よろしくおねがいします
- 10) ～字<sup>じ</sup>

## 22か

• ぶんけい • ごい

- 1 わたしは先生に絵はがきをさしあげました。  
マナさんは友だちにきれいな花をあげました。  
わたしは弟にTシャツをやりました。

先生はわたしに本を<sup>くだ</sup>下さいました。

こいびとはわたしに<sup>ゆびわ</sup>指輪をくれました。

わたしは先生 {に／から} 本をいただきました。

マナさんは友だち {に／から} 本をもらいました。

- 2 わたしは友だちにプレゼントを送ってあげました。  
マナさんは友だちを<sup>おんがっかい</sup>音楽会にさそってあげました。

わたしは弟にテニスを教えてやりました。

わたしは弟をほめてやりました。

先生はわたしに本をかして<sup>くだ</sup>さいました。

先生はわたしたちを案内して<sup>くだ</sup>さいました。

友だちはわたしたちに写真を見せて<sup>くだ</sup>さいました。

友だちはわたしを<sup>たす</sup>助けて<sup>くだ</sup>さいました。

<sup>そぼ</sup>祖母はわたしを<sup>そだ</sup>育てて<sup>くだ</sup>さいました。

わたしは先生に本をかしていただきました。  
わたしたちは先生に案内していただきました。

わたしは友だちに写真を見せてもらいました。  
マナさんは友だちに助けてもらいました。  
わたしは祖母に育ててもらいました。

3 その記念切手を見せていただけませんか。

はい、お見せしましょう。

このにもつを送っていただきたいのですが。

はい、お送りしましょう。

4 友だちが来るから、へやに花をかざっておきました。

お茶がのみたいから、おゆをわかしておいてください。

財布やパスポートは、いつも引き出しにしまっておきます。

旅行のために、新しいかばんを買っておきました。

今晚パーティー；ティーがあるから、昼ご飯はあまり食べないでおきま

よ

う。

いもうとたちが；心配するから、；父の；病気のことは言わな

いでおきま

す。

5 パーティーのために、おいしい料理が；用意しております。

友だちのために、きれいな花がかざっております。

かべにはかんじの表がはってあります。

へやには新しいたたみがしいてあります。

- 6 風がふいて、戸が開きました。今、戸が開いています。  
暑いから、マナさんは戸を開けました。今、戸が開けてあります。

風がふいて、火が消えました。今、火が消えています。

危ないから、わたしは火を消しました。今、火が消してあります。

- 7 じゅぎょうに間に合うように、教室まで走って行きました。  
学生がわかるように、れいをあげて、説明しました。  
シャツがかわくように、火のそばへ持って行きました。  
帰って、すぐねられるように、へやにふとんをしいておきました。

会議におくれないように、早く家を出ましょう。

このかみをやぶらないように、気をつけてください。

子どもたちがさくらのえだをおらないように、注意してください。

ボールに当たらないように、気をつけた方がいいです。

病気がわるくならないように、医者にみてもらいました。

\* ごめんなさい。—— いいえ、大丈夫ですよ。心配しないでください。本日はありがとうございました。

• れんしゅう



1. れい わたしは えいがが すきです。(えいか/すき)

- 1) \_\_\_\_\_ (チョコレート/すき)
- 2) \_\_\_\_\_ (野球/すき)
- 3) \_\_\_\_\_ (うたをうたう/すき)
- 4) \_\_\_\_\_ (絵を見る/すき)
- 5) \_\_\_\_\_ (あまい物/きれい)
- 6) \_\_\_\_\_ (せんたくをする/きれい)

2. れい あなたは 何が ほしいですか。

ほしい 物は ありません。

1) あなたは 何が 食べたいですか。

\_\_\_\_\_

2) あなたは 何が したいですか。

\_\_\_\_\_

3) あなたは どこへ 行きたいですか。

\_\_\_\_\_

4) あなたは どんな やさいが きれいですか。

\_\_\_\_\_

5) あなたは どの 画家が すきですか。

\_\_\_\_\_

3. れい わたしは チョコレートが 食べたいです。

京子さんは チョコレートを 食べたがって います。

1) わたしは あのえいがが 見たいです。

京子さんは \_\_\_\_\_

2) わたしは 外国の 切手が ほしいです。

京子さんは \_\_\_\_\_

3) わたしは 日本りょうりを 食べてみたいです。

京子さんは \_\_\_\_\_

4) わたしは 早く しゅくだいを やって しまいたいです。

京子さんは \_\_\_\_\_

5) わたしは 東京へ 行って きたいです。

京子さんは \_\_\_\_\_

4. れい あなたは ビールが 飲みたいです。

いいえ、ビールは 飲みたくないです。

1) あなたは あまい 物が 食べたいですか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

2) あなたは 京子さんと けっこんしたいですか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

3) あなたは くるまが ほしいですか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

4) 京子さんは 山へ 行きたがって いますか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

5) あなたは りょこうが すきですか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

6) 子どもは からい 物を 食べたがりますか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

・ あたらしい ことば

1) ・ <sup>だいがくさい</sup> 大学祭    プログラム    <sup>こうがい</sup> 公害    <sup>しぜん</sup> 自然    テーマ    とうち

<sup>かい</sup> ん会    みどり    <sup>だい</sup> 題    <sup>わかもの</sup> 若者    <sup>いけん</sup> 意見    <sup>じしん</sup> 自信    スピーチ

<sup>しょうばい</sup> 商売    <sup>さくひん</sup> 作品    サークル活動    <sup>きねん</sup> 記念    Tシャツ    はくしゅ

／ 絵はがき 音楽会 おゆ 引き出し 表 たたみ  
れい ふどん

- ・ アジア
- ・ この間 本日
- ・ [を]案内 [を]じゅんぴ

- 2) [を]えらぶ [に]自信がある [を] ; まちがえる 喜ぶ  
並ぶ [を]後にする [に・を]招く [に・を]さしあげる  
／ ; [に・を]やる ; [に・を]下さる [に/から・を]い  
ただく 「に・を」さそう [を]助ける [を]育てる [を]  
]わかす [に・を]しまう 「に・を」かぎる [に・を]  
しく [に] ; 間に ; 合う 「れいを」あげる [に]おくれる  
[を]やぶる [を]おる 「医者が・を」みる

3) 心配な

4) もうすぐ

5) ～である ～ておく ～てくれる・～くださる ～てあげ  
る・～てやる ～てもらう・～ていただく お(てつだい)する

6) (ざんねん) ながら (まちがえない) ように

7) ごめんなさい

## 23か

• ぶんけい • ごい

1 もみじの葉は赤い色をしています。

このお皿は丸い形をしています。

マリアさんは青い顔をしています。

2 あの荷物は重そうです。

あの人は悲しそうです。

あの人は、はずかしそうな顔をしています。

学生たちは眠そうに先生の話聞いています。

いもうとは、こわそうに大きい犬を見ている。

あの人は、さびしそうに一人ですわっています。

あの子は頭が良さそうです。

あの人は元気がなさそうです。

あの子どもたちは、けんこうそうです。

幹は、薬をのまなければならぬので、いやそうな顔をしていま  
す。

母は心配そうに医者話を聞いています。

3 上着のボタンが取れそうです。

ほそ  
細いほうがおれそうです。

切れそうなひもや破れそうな布はすててください。

われそうな、古い茶わんは使わない方がいいでしょう。

風がつよくふいたので、木がたおれそうになりました。

高い波が来たので、船がしげみそうになりました。

4 このパンはまるで石のように固いです。

このパンはまるで石のようです。

これはまるで石のようなパンです。

あの夕日はまるで血のように赤いです。

あの人の心はまるで氷のように冷たいです。

山のようにごみがあります。

あの雲はおかしのような形をしています。

5 星が光っているのが見えます。

学生たちは、夕日がしずむのを見ていました。

子どもたちがさわいでいるのが聞こえました。

兄は、安があみだなから荷物を降ろすのをてつだいました。

学生たちは、家族から手紙が来るのを待っています。

6 このテープは録音するのに使います。

このテープは録音に使います。

予習よしゅうするのに一時間かかりました。

予習に一時間かかりました。

大学に入るのに高校の卒業そつぎょう証明書しょうめいしょが必要ひつようです。

魚さかなをとるのに丈夫じょうぶなあみいが要ります。

この料理を作るのに油あぶらをたくさん使います。

7 鉄てつで刀かたなを作ります。

鳥とりの羽はねでふとんを作ります。

金きんや銀ぎんで茶わんちややお皿おひらを作ります。

ナイロンでくつ下くつしたを作ります。

ガラスでびんびんを作ります。

牛乳ぎゅうにゅうからチーズやバターバターを作ります。

石油せきゆからプラスチックプラスチックを作ります。

麦むぎからビールビールを作ります。

この植物しょくぶつの実みからジャムジャムを作ります。

豆まめからみそやしょうゆしょうゆを作ります。

8 門もんの前に制服せいふくを着たけいさつかんならが並んでいます。

あの黒いかばんかばんを持った人は小林小林さんです。

かわいた布ぬいでガラスガラスをみがいてください。

この村では年をとった人たちが農業のうぎようをやっています。

9 あの車はたぶん百万円以上でしょう。

ろくじゅうてんいか  
六十点以下の学生はもう一度テストをします。

りょこう しゅっぱつ じゅうにちいぜん  
旅行に出発するのは十日以前です。

しちがつついたちいご  
しけんの日は七月一日以後です。

さくぶん よんひゃくじいじょうろっぴゃくじいない  
作文は四百字以上六百字以内で書いてください。

• れんしゅう

1. れい 日本語を話します      日本語が話せます。
- |              |            |
|--------------|------------|
| 1) 手紙を書きます   | 手紙が_____   |
| 2) 電話をかけます   | 電話が_____   |
| 3) 本をかります    | 本が_____    |
| 4) りょうりを作ります | りょうりが_____ |
| 5) ビールを飲みます  | ビールが_____  |
| 6) えいがを見ます   | えいがが_____  |
| 7) うたをうたいます  | うたが_____   |
| 8) にもつをはこびます | にもつが_____  |
| 9) 学校へ来ます    | 学校へ_____   |
| 10) テニスをします  | テニスが_____  |

2. れい 日本語が話せます。→ 日本語を話すことができます。

- 1) 日本語のじしょがひけます。→
- 2) タイプライターが打てますか。→
- 3) 三百円でラーメンは食べられません。→
- 4) 自転車に乗れますか。→

3. れい あなたはきょうあさごはんを食べて来ましたか。

いいえ、食べずに来ました。

1) あなたは、きょうぼうしをかぶって、来ましたか。

いいえ、\_\_\_\_\_

2) あなたは、さとうを入れてコーヒーを飲みますか。

いいえ、\_\_\_\_\_

3) あなたはししょをひいてこの本を読みましたか。

いいえ、\_\_\_\_\_

4) あなたは何かを見ておかしをつくりましたか。

いいえ、\_\_\_\_\_

5) あなたはめがねをかけて車を運転しますか。

いいえ、\_\_\_\_\_

4. といたこたえ

1) あなたはテレビを見ながらごはんを食べますか。

2) 音楽を聞きながらこのしゅくだいをしていますか。

3) 今、となりのへやから話し声が聞こえますか。

4) あなたは英語を話すことも読むこともできますか。

5) あなたは じしょをひかずに、日本語の新聞が読めますか。

• あたらしい ことば



- 1) ・ ホーム <sup>ばいてん</sup> 売店 おべんとう <sup>まなか</sup> 真ん中 ベル ゲーム  
あみだな ロッカー <sup>きせつ</sup> 季節 もみじ <sup>しょうがわ</sup> 商側 <sup>さき</sup> 先 <sup>せいふく</sup> 制服  
<sup>しゅうがくりょこう</sup> 修学旅行 <sup>はない</sup> 花入れ <sup>そとがわ</sup> 外側 <sup>ざいりょう</sup> 材料 <sup>ち</sup> 血 <sup>こころ</sup> 心 <sup>そつぎょうしょうめいしょ</sup> 卒業証明書  
あみ <sup>あぶら</sup> 油 でつ <sup>かたな</sup> 刀 <sup>はね</sup> 羽 <sup>きん</sup> 金 <sup>ぎん</sup> 銀 タイロン  
びん チーズ バター <sup>せきゆ</sup> 石油 プラスチック <sup>むぎ</sup> 麦 <sup>み</sup> 実  
ジャム <sup>まめ</sup> 豆 みそ けいさつかん  
・ <sup>きよみずでら</sup> 清水寺  
・ <sup>はっしや</sup> 発車
- 2) <sup>な</sup> 鳴る 「～そうなあおを」する さわぐ 「から・を」<sup>お</sup> 降ろ  
す / とれる おれる <sup>き</sup> 切れる <sup>やぶ</sup> 敗れる <sup>わ</sup> 割れる  
たおれる しずむ <sup>ひか</sup> 光る 「年を」<sup>とし</sup> とる
- 3) うれしい <sup>うつく</sup> 美しい めずらしい / <sup>かな</sup> 悲しい はずかしい  
<sup>ねむ</sup> 眠い こわい さびしい 「元気が」<sup>げんき</sup> ない
- 4) けんこうな いやな
- 5) まるで (～ようだ) <sup>はじ</sup> 初めに
- 6) (おいしい) そうだ (子ども) のようだ
- 7) (行く) の (にかかる) <sup>ろくおん</sup> (録音) に (使う) <sup>つか</sup>

8) <sup>みじゅうぶん</sup>(三十分) <sup>いない</sup>以内 / <sup>ひゃくえん</sup>(百円) <sup>い か</sup>以下・<sup>いじょう</sup>以上 <sup>じゅうにち</sup>(十日) 以前・以後

## 24か

• ぶんけい • ごい

1 マナさんは先生にしかられました。

アリさんは先生に呼ばれました。

わたしは先生にほめられました。

そのどろぼうは、けいさつかんに<sup>お</sup>追いかけられました。

わたしはマナさんに留学生のパーティーに<sup>しょうたい</sup>招待されました。

あの先生は学生たちにそんけいされています。

わたしはパーティーでマリアさんにしょうかいされました。

2 わたしは、留学したいと思いましたが、<sup>りょうしん</sup> <sup>ほんたい</sup>両親に反対されました。

わたしは母に「べんきょうしなさい。」といつも言われます。

小林さんはジョンさんに仕事をたのまれました。

アリさんはけいさつかんに<sup>じゅうしょ</sup>住所と名前を聞かれました。

3 弟は兄に顔をなぐられました。

弟は兄に足をけられました。

弟は兄にかたをたたかれました。

アリさんは犬に手をかまれました。

わたしは常にカメラをこわされました。

母はどろぼうに財布をぬすまれました。

- 4 わたしたちは雨に降られました。(かぜをひきました。)  
 わたしたちは母に入院されました。(とても困りました。)  
 わたしは、小さい時、父に死なれました。(生活が苦しくなりました。)
- 5 この歌は若い人たちに愛されています。  
 この新聞は地方の人たちに読まれています。  
 その国の古い文化は国民に大切にされています。
- 6 せんしゅう、かいぎであたらよていほっぴょう  
 昭和39年(1964年)にとうきょうおりんびっくひら  
 昭和三十九年(1964年)に ;東京で ;オリンピックが ;開かれました。  
 ちほうまいとしふるぎょうじ  
 地方では ;毎年いろいろな ;古い ;行事が行われています。  
 さんねんぐらいまへのじんじやた  
 三百年ぐらい前にその ;神社が ;建てられました。  
 きのうきねんきってはつばい  
 きのう ;記念切手が ;発売されました。
- 7 ろんぶんぜんぶか  
 論文を ;全部書いてしまいました。  
 あしたこのほんよ  
 あしたこの ;本を ;読んでしまうつもりです。  
 はやふたかい  
 早く二階のへやをかたづけたいませう。  
 ぜんぶ  
 このごみを全部すててしまってください。  
 たくしうしせきわすものこま  
 タクシーの後ろの席に忘れ物をしてしまいました。(困りました。)  
 みち  
 道にまよってしまいました。(つかれました。)

テレビがこわれてしまいました。(ざんねんです。)

となりの家のおじいさんが亡<sup>な</sup>くなってしまいました。(悲<sup>かな</sup>しいです。)

- 8 この時計は止まりました。そのまま、ずっと動きません。  
→ この時計は止まったままです。ずっと動きません。  
→ この時計は止まったまま、ずっと動きません。

弟は、へやに入ったまま、外へ出て来ません。

小林さんは、お金を借りたまま、返してくれません。

ガスストーブ<sup>が す す と ぶ でんとう</sup>や電灯<sup>でんとう</sup>をつけました。消<sup>け</sup>さずに、そのまま、ねました。

→ ガスストーブや電灯をつけたまま、れました。

ドアを開けたまま、閉めずに)外出しました。

立ったまま、すわらずに)ご飯を食べています。

くつのまま、へやに入らないでください。

パジャマのまま、外へ出てはいけません。

皮のまま、豆を食べましょう。

- 9 交通事故<sup>こうつうじこ</sup>でけがをしてしまいました。

大風<sup>おおかぜ</sup>で電線<sup>でんせん</sup>が切<sup>き</sup>れました。

じしんでガスも水道<sup>すいどう</sup>も止<sup>と</sup>まってしまいました。

大雨<sup>おおあめ</sup>で池<sup>いけ</sup>の水<sup>みず</sup>がいっぱいになりました。

かじ 火事でたくさんの旅館がやけました。

せんそう 戦争でおおぜいの子どもが死にました。

10 あなたに会えて、うれしいです。

マナさんに会えなくて、ざんねんでした。

眠くて、べんきょうができません。

心配で、ご飯が食べられませんでした。

たばこを吸って、医者にしかられたから、やめなければなりません

おおあめ 大雨で電車がくれたので、じゅぎょうに間に合いませんでした。

11 わたしは、お酒をのみすぎたので、頭がいたくなりました。

このお茶は熱すぎるから、のめません。

このひもは短すぎて、使えません。

この問題はふくざつすぎます。みんな答えられません。

\* 明けておめでとうございます。

## • れんしゅう

1. わくうめ

1) おなかが 。何か食べたいです。

2) のどが 。水をください。

3) A: あなたは兄弟が何人ありますか。

B: わたしを  三人です。

4) A: かぜをひきました。

B: ねつを  みましたか。

A: はい、三十八度 。

2.  おとうさん - おかあさん、父 - 母

1) おにいさん - \_\_\_\_\_、 兄 - \_\_\_\_\_

2) 弟さん - \_\_\_\_\_、 弟 - \_\_\_\_\_

3) \_\_\_\_\_ - おくさん、 \_\_\_\_\_ - つま

3. Aのしつもん「～のです」を使って答えなさい。

A: 元気がありませんね。どうかしたのですか。

B: おなかが痛いのです。

1) A: 見えませんか。

B: はい、わたしは目が \_\_\_\_\_

2) A: この魚、食べないのですか。

B: わたしは魚が \_\_\_\_\_

3) A: ほかの人はだれもいないのですか。

B: みんな外へ遊びに \_\_\_\_\_

4) A: きょうは くつがきれいですね。

B: はい、けさ \_\_\_\_\_

5) A: まだ十一時ですよ。もうおなかがすいたのですか。

B: はい、けさは何も \_\_\_\_\_

4. 「～のです」を使ってしつもんを自由にやりなさい。

A: そのシャツはどこで買ったのですか。

B: えさの前の店で買ったのです。

1) A: \_\_\_\_\_

B: お金が入っているのです。

2) A: \_\_\_\_\_

B: 先月の二日に生まれました。

3) A: \_\_\_\_\_

B: 二年ぐらい習っています。

4) A: \_\_\_\_\_

B: 歯が痛いのです。

5) A: \_\_\_\_\_

B: 一メートル九十センチあります。

5. れい 妹は色がお人形のように白いです。

妹は色が白くてお人形のようにです。

1) 兄はせいがきりんのように高いです。

\_\_\_\_\_

2) あの人はかみの毛が女のように長いです。

\_\_\_\_\_

3) あの人はオリンピック選手のようにはやいです。

\_\_\_\_\_

4) ここはれいぞうこの中のようにしきむいです。

\_\_\_\_\_

5) ジョンさんは、日本語が日本人のようにじょうずです。

\_\_\_\_\_

6) あの人は家族のようにしんせつです。

\_\_\_\_\_

• あたらしい ことば



- 1) ・ <sup>しゃかい</sup>社会 <sup>ぶんか</sup>文化 <sup>ちほう</sup>地方 <sup>みや</sup>お ; <sup>じんじや</sup>宮 <sup>かえ</sup>神社 <sup>まち</sup>帰り待ち  
<sup>ばんぐみ</sup>番組 <sup>かくち</sup>各地 <sup>ようす</sup>様子 <sup>こうぎょうこく</sup>工業国 <sup>みなさま</sup>皆様 / <sup>どろぼう</sup>どろぼう <sup>こくみん</sup>国民  
<sup>たすくねんきって</sup>佐念切手 <sup>わす</sup>忘れ物 <sup>でんとう</sup>電灯 <sup>ガスストーブ</sup>ガスストーブ <sup>パジャマ</sup>パジャマ <sup>こう</sup>交  
<sup>つうじこ</sup>通事故 <sup>おおかせ</sup>大風 <sup>でんせん</sup>電線 <sup>じしん</sup>じしん <sup>ガス</sup>ガス <sup>すいどう</sup>;水道 <sup>おおあめ</sup>大雨  
<sup>かじ</sup>;火事  
・ ひろし  
・ <sup>しんねん</sup>;新年 <sup>むかし</sup>昔 <sup>がんにつ</sup>元日 <sup>さんがつき</sup>三学期 <sup>へいせい</sup>平成 / <sup>しょうわ</sup>;昭和  
「に・を」 <sup>しょうたい</sup>;招待 「を」 <sup>そんけい</sup>そんけい 「に・を」 <sup>しょうか</sup>しょうか  
い 「に」 <sup>はんたい</sup>;反対 「を」 <sup>はっぴょう</sup>;発表 「を」 <sup>はつぱい</sup>;発売
- 2) <sup>おお</sup>大きな <sup>ちい</sup>;小さな
- 3) <sup>のこ</sup>残る 「に」 <sup>おまいり</sup>おまいりする 「ひどい ; 目に」 <sup>あう</sup>あう 「を」  
<sup>お</sup>;押す 「を」 <sup>ふむ</sup>ふむ 「を」 <sup>たいせつ</sup>;大切にすゝる / 「を」 <sup>お</sup>;追  
いかける 「を」 <sup>なぐる</sup>なぐる 「を」 <sup>ける</sup>ける 「を」 <sup>たたく</sup>たたく  
「を」 <sup>かむ</sup>かむ 「を」 <sup>こわす</sup>こわす 「を」 <sup>ぬすむ</sup>ぬすむ 「を」 <sup>あい</sup>;愛する  
「を」 <sup>ひら</sup>;開く 「を」 <sup>おこな</sup>;行う 「「を」たてる 「」 <sup>わす</sup>;忘れ  
<sup>もの</sup>;物を「すゝる 「道に」 <sup>まよう</sup>まよう <sup>こわれる</sup>こわれる <sup>な</sup>亡くなる  
「ガスが」 <sup>がす</sup>がす <sup>と</sup>とまる
- 4) ひどい
- 5) そのまま 今度 ぜひ

- 6) (読ま)れる ~てしまう (多)すぎる (立った)まま  
だ
- 7) (病気)で(休む) (たいてい)の(家)
- 8) それは大変でしたね 明けましておめでとうございます
- 9) (田中)様

## 25か

- ぶんけい • ごい

1 熱ねつがあるようですね、顔かおが赤あかいですよ。

ええ、少しすこ気がきします。どうもかぜをひいてしまったよう  
です。

ニュースにゅすで開ひらきましたが、最近さいきん交通こうつう事故じこが減へったようです。

新聞しんぶんで読よみましたが、去年こぞ東京とうきょうの人口じんこうはあまり増ふえなかつたよう  
です。

この機械きがいはどうし古ふるいようです。あまり動うきません。

アリさんありさんから聞ききましたが、テストはむずかしくなかつたよう  
です。

マナさんまなさんはどうし勉強べんきょうがつらいなようです。いつも外あそで遊あそんでいま  
す。

田中さんたなかさんは留守るすのようです。部屋へやの電でん気が消きえています。

この問題もんだいはかんたんではないようです。だれも答こたえられません。

ニュースにゅすですっていましたが、きのうは地下鉄ちかてつが不通ふつうだったよう  
です。

2 家のまわりはやばかりです。

あの人の言いっていることことはうそばかりです。

毎日まいにち雨あめばかり降ふっています。

あの人はいつも人のまねばかりしています。  
先生は私にばかり質問します。

- 3 あの人はなまけてばかりいます。  
弟は、勉強せずに、遊んでばかりいます。

マナさんは、しゃきょうの時、まちがえてばかりいます。  
わたしは、いつも母にしかられてばかりいます。

- 4 わたしはこれから食事をするところです。  
わたしは、今、食事をしているところです。  
わたしは、今、食事をしたところです。

わたしはこれから外出するところです。いっしょに行きませんか。  
学生たちは部屋で自習しているところです。静かにしてください。  
ちょうどおかしができたところです。一つ食べてみませんか。

- 5 兄は外国へ行きたがっています。  
タンさんは、家族から手紙が来ないので、さびしがっています。  
田中さんは、奨学金しょうがくきんがもらえなかったので、残念ざんねんがっています。

弟は、おかしを見ると、いつも欲ほしがります。  
いもうとは、父がたばこを吸うと、いやがります。  
いもうとは、デパートへ行くと、いつもおかしを買いたがります。

- 6 革はよく勉強しました。それなのに、せいせきが上がりませんでした。  
た。

→ 弟は、よく勉強したのに、せいせきが上がりませんでした。

今日は天気がいいです。それなのに、あの人はずっと家でれています。

→ 今日は天気がいいのに、あの人はずっと家でねています。

あの人はいんです。それなのに、この仕事をてつだってくれません。

→ あの人はひまなのに、この仕事をてつだってくれません。

7 フカメラの<sup>ぎじゅつ</sup>技術はずいぶん進んできました。

わたしたちの<sup>せいかつ</sup>生活はだんだん<sup>こうじょう</sup>向上してきました。

<sup>かがく</sup>科学はこれからも<sup>しんぽ</sup>どんどん進歩していくでしょう。

人々は昔から<sup>むかし</sup>自然と<sup>たたか</sup>戦ってきました。

わたしは<sup>しょうらい</sup>将来もずっとこの<sup>けんきゅう</sup>研究を<sup>つづ</sup>続けていくつもりです。

8 雨が降ってきました。

いいにおいがしてきました。

寒気がしてきました。

• れんしゅう

1. わくうめ

1) 日本ではぶた肉のほうが牛肉より 。

2) 東京のほうが大阪より 。

- 3) あの国ではサッカーがいちばん 。
- 4) 東京ではこの本やがいちばん 。
- 5) わたしはあの人ほど 。
- 6) このへやはあのへやほど 。
- 7) 人口は中国のほうがアメリカより 。
- 8) 動物では くじらがいちばん 。

## 2. かんせい

- 1) あの店は ねだんはたかいですが、 \_\_\_\_\_
- 2) ぞうは 体は大きいですが、 \_\_\_\_\_
- 3) この家は 学校からは近いですが、 \_\_\_\_\_
- 4) 中国語は文法は やさしいですが、 \_\_\_\_\_
- 5) ここは冬はさむいですが、 \_\_\_\_\_
- 6) あの店は ねだんもたかいし、 \_\_\_\_\_
- 7) わたしは ステレオもほしいし、 \_\_\_\_\_
- 8) わたしは すしもすきだし、 \_\_\_\_\_
- 9) 東京は 人も多いし、 \_\_\_\_\_
- 10) きのは 風も強かったし、 \_\_\_\_\_

## 3. れい

あなたは ドイツや イギリスへ 行ったことが ありますか。

ドイツへは 行ったことが ありますが、イギリスへは 行ったことが ありません。

- 1) あなたは田中さんや林さんと話をしたことがありますか。  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_
- 2) あなたはラーメンやてんぷらを食べたことがありますか。

---

---

3) あなたは両親や友だちに手紙を書きましたか。

---

---

4) あなたはピアノやバイオリンがひけますか。

---

---

5) あなたは飛行機や船に乗ったことがありますか。

---

---

6) あなたはビールやウイスキーをのんだことがありますか。

---

---

・ あたらしい ことば

1) ・ <sup>じしゅうしつ</sup>自習室    <sup>けしき</sup>けしき    <sup>げんじつ</sup>現実    <sup>ゆきぐに</sup>雪国    <sup>ゆきお</sup>雪下ろし    <sup>やね</sup>屋根  
<sup>おおゆき</sup>大雪    <sup>れっしゃ</sup>列車    <sup>ふつう</sup>不通    <sup>た</sup>田    <sup>はたけ</sup>畑    <sup>ひとびと</sup>人々    <sup>きかい</sup>機械    <sup>ゆき</sup>雪だるま  
／ <sup>るす</sup>留守    <sup>まね</sup>まね    <sup>しょうがくきん</sup>奨学金    <sup>ぎじゆつ</sup>技術    <sup>かがく</sup>化学

・ <sup>いま</sup>今ごろ    <sup>さいきん</sup>最近

・ 「を」 <sup>のつく</sup>ノック    ／    <sup>じしゅう</sup>自習    <sup>こうじょう</sup>向上    <sup>しんぽ</sup>進歩

2) 「に」 <sup>きがつく</sup>気がつく    「と」 <sup>たたか</sup>戦う    「に」 <sup>つ</sup>積もる    「を」 <sup>のぞ</sup>除く  
「を」 <sup>おこす</sup>起こす    ／    <sup>へ</sup>減る    <sup>ふ</sup>増える    なまける    「技術が」 <sup>すす</sup>進む  
む

3) きびしい

4) 真っ白ましろな

5) 全然ぜんぜん（ない）　ちょうど　どうも　大変たいへん　しかたなく  
だんだん　ずいぶん　／　どんどん

6) それなのに

7) （降り）ふ始めるはじ　（来た）きところだ　（いや）がる　（見て）み  
ばかりいる

8) （いた）のに　（雪）ゆきばかり



## 26か

### • ぶんけい • ごい

- 1 ニュースによると、<sup>みせいねんしゃ こうつうじこ ふ</sup>未成年者の交通事故が増えてきたそうです。  
山田さんの説明では、ちかごろ若い女性は一人で和服を着られない  
そうです。

<sup>とうけい</sup>統計によると、<sup>さいきん</sup>最近、<sup>だんせい</sup>男性の人口は<sup>じょせい</sup>女性の人口より<sup>おお</sup>多いそうです。

<sup>はは</sup>母の手紙によると、<sup>いま</sup>今、<sup>ちち</sup>父の仕事は<sup>いそが</sup>あまり忙しくないそうです。

<sup>しんぶん</sup>新聞によると、<sup>きょねん</sup>去年、<sup>かいがいりよこう</sup>海外旅行をした人は<sup>ひと</sup>全国で<sup>ぜんこく</sup>約九百万人だそう  
です。

田中さんの話では、あの学生は、あまりまじめではないそうです。

- 2 <sup>しゃちょう</sup>社長は<sup>しゃいん</sup>社員に<sup>きそく</sup>規則を守るように<sup>まも</sup>(と)<sup>めいれい</sup>命令しました。

わたしは<sup>とも</sup>友だちに<sup>にもつ</sup>荷物を<sup>はこ</sup>運ぶように<sup>たの</sup>(と)頼みました。

先生は<sup>じゆぎょう</sup>学生に<sup>けっせき</sup>授業を<sup>ちゆうい</sup>欠席しないように(と)注意しました。

<sup>あね</sup>姉は<sup>たま</sup>球にお金を<sup>お</sup>落とさないように(と)言いました。

- 3 (子どもでも大人でも)だれでも<sup>ほうりつ</sup>法律を守らなければなりません。

あの人は、もう<sup>ひと</sup>(内でもやさいでも)<sup>なん</sup>何でも<sup>た</sup>食べられます。

(<sup>しあわ</sup>幸せな<sup>とき</sup>時でも ; <sup>ふしあわ</sup>不幸せな<sup>とき</sup>時でも)いつでも<sup>かぞく</sup> ; 家族はいっしょ  
でした。

(<sup>きりす</sup>キリスト教でも<sup>ときょう</sup>イスラム教でも<sup>いす</sup>仏教でも)どの宗教でも政治や文化  
と深い関係があります。

スーパーマーケットは(東京にでも<sup>おおさか</sup>おおさかにでも)どこにでもあり  
ます。

4 来年はたぶん<sup>ぶつ</sup>物価が上がるだろうと思います。

<sup>ゆきくに</sup>雪国の<sup>せいかつ</sup>生活はきびしいだろうと思います。

日本語でレポートを書くのは大変だろうと思います。

5 今月の末までに<sup>いじん</sup>とうろん会の委員を決めてください。

水よう日までに<sup>しゅくだい</sup>宿題を出さなければなりません。

十二時までに駅に着けますか。

来年までに<sup>はし</sup>橋の<sup>こうじ</sup>工事が<sup>かんせい</sup>完成する予定です。

6 わたしは、夏休みの間、ずっと町の<sup>としょかん</sup>図書館で勉強するつもりです。

母が買い物をしている間、父は車の中で待っていました。

わたしは、話を聞いている間、とても眠かったです。

わたしは、昼休みの間に、<sup>ぎんこう</sup>銀行へ行って来ました。

赤ちゃんが寝ている間に、この<sup>へん</sup>辺をかたづけましょう。

来年から忙しくなります。今年、ひまがある間に、<sup>いちどくに</sup>一度国へ<sup>うつ</sup>移りたい  
です。

7 駅へ行きます。その途中で、銀行に寄ります。

→ 駅へ行く途中で、銀行に寄ります。

学校へ行く途中で、事故にあいました。

わたしたちの真った船は、世界一周旅行の途中で、神戸の港に寄りました。

8 式は長くかかりますか。

いいえ、そんなに長くかかりません。

このちゅうしゃは痛いですか。

いいえ、そんなに痛くありません。

この小説は有名ですか。

いいえ、そんなに有名ではありません。

\* この間はありがとうございました。—— いいえ、どういたしまして。

• れんしゅう

1.  れい このおかしを食べてもいいですか。

はい、食べてもいいです。

いいえ、食べてはいけません。

1) もう帰ってもいいですか。

はい、\_\_\_\_\_

2) ここでたばこをすってもいいですか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

- 3) ここで写真をとってもいいですか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

- 4) あしたは学校へ来なくてもいいですか。

はい、 \_\_\_\_\_

- 5) ネクタイをしめなくてもいいですか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

- 6) ペンで書かなくてもいいですか。

いいえ、 \_\_\_\_\_

2. 「までに」か「まで」を入れなさい。

きょうは十二時まで勉強をしようと思います。

わたしは五時までに家へ帰らなければなりません。

- 1) この本は来週の水曜日 \_\_\_\_\_ かえしてください。
- 2) わたしは午後五時 \_\_\_\_\_ ここにいるつもりです。
- 3) きょうの午後五時 \_\_\_\_\_ 電話をください。
- 4) わたしが帰って \_\_\_\_\_ 待っていてください。
- 5) おなかが痛く なる \_\_\_\_\_ 食べてはいけません。
- 6) くらくなる \_\_\_\_\_ 帰ってきて、ください。
- 7) きのは夜おそく \_\_\_\_\_ 勉強をしました。
- 8) 国へ帰る \_\_\_\_\_ 一度遊びに来てください。

3.  じよを使ってもいいですか。

いいえ、じしよを使っははいけません。

- 1) \_\_\_\_\_

はい、もう帰ってもいいです。

- 2) \_\_\_\_\_

ここには車を止めないでください。

3) \_\_\_\_\_

ここでは、たばこをすわないで ください。

4) \_\_\_\_\_

いいえ、ネクタイをしめて来てください。

5) \_\_\_\_\_

いいえ、病院へ行かなくてもいいです。

#### 4. かんせい

1) ここにお金を入れると \_\_\_\_\_

2) あまり食べすぎると \_\_\_\_\_

3) この橋をわたると \_\_\_\_\_

4) 夏になると \_\_\_\_\_

5) 勉強をしないと \_\_\_\_\_

6) あまりテレビを見すぎると \_\_\_\_\_

#### 5. 次のことばを使って文を作りなさい。

1) ぜひ

2) なかなか

#### ・ あたらしい ことば

1) ・ <sup>せいじん</sup>成人 <sup>しやくしょ</sup>市役所 <sup>せいじんしき</sup>成人式 <sup>しき</sup>式 <sup>ごぜんちゆう</sup>午前中 <sup>ぜんこく</sup>全国 <sup>ほうりつ</sup>法律

<sup>せきにん</sup>責任 <sup>かいじょう</sup>会場 <sup>とちゆう</sup>途中 フィルム <sup>わふく</sup>和服 <sup>じよせい</sup>女性 /

<sup>みせいねんしゃ</sup>未成年者 <sup>だんせい</sup>男性 <sup>かいがいにりよう</sup>海外旅行 <sup>しゃちょう</sup>社長 <sup>しゃいん</sup>社員 <sup>きそく</sup>規則 <sup>びょうにん</sup>病人

キリスト教 <sup>きりすときょう</sup>    イスラム教 <sup>いすらむきょう</sup>    仏教 <sup>ぶつきょう</sup>    宗教 <sup>しゅうきょう</sup>    政治 <sup>せいじ</sup>    レポーター <sup>れぽーたー</sup>

と ; ト <sup>と</sup>    末 <sup>すえ</sup>    委員 <sup>いいん</sup>    図書館 <sup>としょかん</sup>    世界一周旅行 <sup>せかいいっしゅうりょこう</sup>

- <sup>こうべ</sup> ; 神戸
- <sup>せいじん</sup> ; 成人の <sup>ひ</sup> ; 日 <sup>あした</sup> 明日
- [ ; [を ; ]お ; 祝い    [に・を] れんらく    [に ; ]出席 [を]経験    [を]せんきょ / [に ; ]命令 <sup>めいれい</sup>    [を ; ]欠席 <sup>けつせき</sup> [に  
いようと ] ; ]注意完成 <sup>ちゅういかんせい</sup>

2) だれでも <sup>なん</sup> ; 何でも    いつでも    どの～でも    どこにです

3) [から・に・れんらくが]ある    [を]許す <sup>ゆる</sup>    [責任を]持つ <sup>せきにん</sup>  
[に]寄る <sup>よ</sup>    意ぐ <sup>い</sup> / 「事故に」あう <sup>じこ</sup>

4) <sup>ふか</sup> 深い

5) あじめな <sup>しあわ</sup> ; 幸せな    <sup>ふしあわ</sup> 不幸せな

6) そんなに(一)ない    <sup>いそ</sup> 急いで    そろそろ / その途中 <sup>とちゅう</sup>で

7) けれども

8) (だ)そうだ    (いう)だろう

9) (する)ようと (言<sup>い</sup>われる) (している)間<sup>あいだ</sup> (ニュース)によ  
ると (先生<sup>せんせい</sup>の話<sup>はなし</sup>)では (十<sup>じゅうじ</sup>時)までに

10) どういたしまして

## 27か

• ぶんけい • ごい

- 1 母は弟を病院へ行かせました。  
先生は生徒を立たせました。

社長は社員に電話をかけさせました。  
先生は生徒に日記をつけさせました。

父は妹に聞を持って来させました。  
先生は生徒に面積や体積を計算させました。

- 2 先生は生徒たちに好きな所へ行かせました。  
父親と母親は ; 子どもたちに自由に意見をしゃべらせました。  
両親は子どもたちに ; 自由に ; 専攻をえらばせました。

- 3 田中さんは、じょうたんを言って、みんなをわらわせました。  
わたしは、大きい声を出して、友だちをびっくりさせました。  
兄は、うそを言って、弟をおこらせました。

- 4 あしたは休ませてくださいませんか。  
この電話を使わせてください。

先生はわたしを休ませてくださいました。  
田中さんはわたしに電話を使わせてくれました。



5 私立<sup>しりつ</sup>大学に入ったら、お金がかかるはずです。

国立<sup>こくりつ</sup>大学に入ったら、お金がそんなにかからないはずです。

部屋の温度を上げたから、あたたかくなるはずです。

部屋の温度を下げたから、すずしくなるはずです。

定期<sup>ひつよう</sup>けんを買う時は、学生証が必要なはずです。

普通のきっぷを買う時は、学生証が必要ではないはずです。

今日は日よう日だから、銀行は休みのはずです。

今日は火よう日だから、銀行は休みではないはずです。

6 ジュースはありませんが、水ならあります。

土よう日はだめですが、日よう日なら都合がいいです。

ほかのスポーツはやりませんが、テニスならやります。

ほかの所へは行きたくありませんが、京都へなら行きたいです。

工場の中では写真をとってはいけませんが、外でならいいです。

7 てわたしがやるとおりに、やってください。

学生は、先生の言うとおりに、<sup>じっけん</sup> ; 実験をしました。

地図に書いてあるとおりに、歩きましょう。

地図のおりに、歩きましょう。

料理の本に書いてあるとおりに、やさとうを入れなさい。

料理の本のとおり、<sup>しお</sup> ;塩やさとうを入れなさい。

8 会社を休む場合は、<sup>りゆう</sup> ;理由を言ってください。

事故があった場合は、すぐ原因を<sup>げんいん</sup> <sup>しら</sup> ;調べなければなりません。

お金が<sup>な</sup>無い場合は、友だちにかしてもらいます。

風が<sup>つよ</sup>強い場合は、工事をやめるかもしれません。

薬を飲んでも、だめな場合は、医者にみてもらった方がいいでしょう。

お金が必要な場合は、知らせてください。すぐ送ります。

りょうの<sup>しょくどう</sup>食堂が休みの場合は、自分の部屋で食事を作ります。

欠席<sup>けっせき</sup>の場合は、早く返事をしてください。

9 わたしは兄の中で太っている方です。

アリさんはクラスの中で背が高い方です。

マナさんは日本語が上手な方だと思います。

10 こちらは友だちの中村さんです。

あの人は留学生のマナさんです。

兄は母校の東京大学で教えています。

• れんしゅう

1. 「ので」か「のに」を入れなさい。

- 1) あたまがいたい \_\_\_\_\_ 病院へいきます。
- 2) お金がない \_\_\_\_\_ 買えません。
- 3) きょう来ると いうやくそくをした \_\_\_\_\_ まだ来ません。
- 4) さっきたくさん食べた \_\_\_\_\_ 今は食べたくないです。
- 5) 毎日 運動している \_\_\_\_\_ あの人はとてもじょうぶです。
- 6) わたしは用事ができた \_\_\_\_\_ 行くことができません。
- 7) 雨がふっている \_\_\_\_\_ あの人はかさをさしていません。
- 8) 試験はやさしかった \_\_\_\_\_ みんなよくできました。
- 9) ぜんぶ食べてしまった \_\_\_\_\_ もうありません。
- 10) あの人は ビールを 十本 飲んだ \_\_\_\_\_ まだ飲めます。

2. れい かぜをひきました。 学校を休みます。

かぜをひいたから、学校を休みます。

- 1) のどがかわきました。 水を飲みましょう。  
\_\_\_\_\_
- 2) あした試験があります。 勉強しなければなりません。  
\_\_\_\_\_
- 3) さむいです。 ストーブをつけてください。  
\_\_\_\_\_
- 4) あしたは休みです。 こんばんはおそくまでおきています。  
\_\_\_\_\_
- 5) あの人は魚がすきです。 毎日食べます。  
\_\_\_\_\_
- 6) 時間がありません。 急いでください。  
\_\_\_\_\_
- 7) きのうおさけを飲みすぎました。 あたまが痛いのです。  
\_\_\_\_\_

3. れい あした 試験があります。 だれも勉強していません。

あした 試験があるのにだれも勉強していません。

1) もう十時半になりました。あの人はまだ来ません。

---

2) あ的人是学生です。あまり勉強しません。

---

3) あ的人是うたがじょうずです。あまりうたいません。

---

4) あ的人是魚がすきです。きょうは食べません。

---

5) きのは休みでした。どこへも行きませんでした。

---

6) あまり練習しませんでした。よくできました。

---

7) 毎日 練習しています。じょうずになりません。

---

4. れい どうして ごはんを ごはんを食べないのですか。

おなかが 痛いからです。

1) \_\_\_\_\_

わたしの父も母もせいが高いからです。

2) \_\_\_\_\_

今おまつりをやっているからです。

3) \_\_\_\_\_

いっしょうけんめいに練習したからです。

4) \_\_\_\_\_

きのは用事があったからです。

5)

今おもしろいえいがをやっているからです。

• あたらしい ことば

- 1) • <sup>きょういくがく</sup>;教育学 <sup>せんこう</sup> 専攻 <sup>つごう</sup> 都合 <sup>ぼこう</sup> 母校 <sup>りか</sup> 理科 <sup>おんど</sup> 温度  
<sup>たいせき</sup> 体積 <sup>きょうかしよ</sup> 教科書 <sup>ず</sup> 函 <sup>ためしためかん</sup> 試験管 <sup>しょくえん</sup> 食塩 <sup>けっか</sup> 結果 <sup>せいと</sup> 生徒  
<sup>くらぶかつどう</sup> クラブ活動 <sup>ばあい</sup> 場合 <sup>かがくくらぶ</sup> 科学クラブ <sup>しなひ</sup> 市内 <sup>じゆく</sup> じゆく <sup>おや</sup> 親  
<sup>にっき</sup> 日記 <sup>はれ</sup> はれ <sup>くもり</sup> くもり <sup>たこう</sup> 他校 <sup>ていど</sup> 程度 <sup>こうりつ</sup> 公立 <sup>きゅうしょくせいど</sup> 給食制度  
<sup>せいど</sup> 制度 / <sup>めんせき</sup> 面積 <sup>ちちおや</sup> 父親 <sup>ははおや</sup> 母親 <sup>じょうたん</sup> じょうたん <sup>しりつ</sup> 私立 <sup>こくりつ</sup> 国立  
<sup>しお</sup> 塩 <sup>さとう</sup> さとう <sup>りゆう</sup> 理由 <sup>げんいん</sup> 原因  
• <sup>なかむら</sup>;中村 <sup>わたなべ</sup> わたなべ  
• <sup>だいさんしょうがっこう</sup>;第三小学校 / <sup>とうきょうだいがく</sup> 東京大学  
• <sup>ほうかご</sup>;放課後  
• <sup>じっけん</sup> 実験 [を;] <sup>きょういく</sup> 教育

2) こういう(本)

- 3) [を] <sup>ひ</sup>冷やす [;[に・を]まぜるこおる [を] <sup>み</sup>みつける  
びっくりする / <sup>しゃべる</sup> しゃべる 「<sup>こえ</sup>;声を」<sup>だ</sup>出す おこる  
「<sup>おんど</sup>;温度を」上げる [を]下げる

4) ~でもけっこうです(けっこうな) <sup>ねっしん</sup> 熱心な

5) <sup>じゆんばん</sup>順番に　まず　つぎに　<sup>おも</sup>主に　<sup>とも</sup>共に

6) (できる)はずだ　(言<sup>い</sup>う)とお<sup>り</sup>だ　(てつ<sup>だ</sup>わ)せる　(見<sup>けん</sup>が<sup>く</sup>)  
さ<sup>せ</sup>て<sup>く</sup>だ<sup>さ</sup>る　／　さ<sup>せ</sup>て<sup>く</sup>れ<sup>る</sup>

7) いや

8) (中<sup>なか</sup>む<sup>ら</sup>)く<sup>ん</sup>　(三<sup>み</sup>)分<sup>ぶん</sup>の(一<sup>いち</sup>)　ほ<sup>ど</sup>　(三<sup>さん</sup>分<sup>ぶん</sup>の ; 一<sup>いち</sup>) ほ<sup>ど</sup>  
(に) 倍<sup>ばい</sup>　第<sup>だい</sup>(三<sup>さん</sup>番<sup>ばん</sup>)

## 28か

### ・ ぶんけい ・ ごい

1 先生は、来月、国へお帰りになります。

あの方はお<sup>よろこ</sup> ;喜びになるでしょう。

先生は、来月、国へ帰られます。

あの方は喜ばれるでしょう。

先生は安朝さんぽをされます。

先生は明日ここへ来られます。

先生はもう論文を書いてしまいました。

あの方は花をかざっておかれました。

2 先生は何とおっしゃいましたか。

先生は写真を御<sup>ご</sup>らんになりました。

おく様はコーヒーやおかしを召し上がりました。

先生は明日はここでテニスをなさるでしょう。

あの方はいつもこの道をさんぽなさいます。

先生は、来週、京都へいらっしゃいます。

先生は、今、ここにいらっしゃいます。

お<sup>きやくさま</sup> ;お客様はもうすぐここへいらっしゃいます。

先生方はあの部屋で話していらっしゃいます。

先生はここへ新聞を持っていらっしゃいました。

3 お荷物をお持ちしましょう。  
すぐ結果をお知らせします。

すぐ結果を抑れんらくします。  
先生に相談します。

4 先週、田中さんのお姉さんのお<sup>ねえ</sup> ; 宅にうかがいました。  
先生のお宅でコーヒーとおかしをいただきました。  
私は田中と<sup>もう</sup> ; 申します。  
皆でかんばいをいたしました。

すぐそちらへ<sup>まい</sup> ; 参ります。  
さっきこちらへ参りました。  
地図を持ってまいりました。

ずっとここにおります。  
両親は東京に住んでおります。

5 どうぞこの電話をお使ください。  
どうぞこの車にお乗りください。

すぐ御れんらくください。  
どうぞ御安心ください。

6 お元気ですか。  
お上手ですね。  
お幸せになってください。



御自由にどうぞ。

御不便でしょうね。

親切にしてくださいまして、ありがとうございました。

- 7 中村さんは、しないで友だちに<sup>か</sup>；勝ったらしいです。なんでいます。  
あの人は、どうし部屋にいないらしいです。電気が消えています。

ラジオで聞きましたが、明日は天気がわるいらしいです。

あの料理は、どうもおいしくないらしいです。たくさんっています。  
す。

あの仕事は、どうも大変らしいです。みんなやりたがりません。

本で読みましたが、この新しい策は安全ではないらしいです。

- 8 わたしは、今、家へ帰って来たばかりです。まだ上着もいいでいません。

この手紙は、<sup>う</sup>；受け<sup>と</sup>；取ったばかりですから、まだ読んでいません。

生まれたばかりの赤ちゃんはしゃべれません。

買ったばかりの家具<sup>かぐ</sup>がこわれてしまいました。

日本に来たばかりの時、ホームシックになってしまいました。

- 9 わたしは、けんかをする度に、兄に<sup>ま</sup>負けました。

わたしは、息<sup>いき</sup>をする度に、これが痛くなります。

Aクラスは、しあいに出る度に、一位<sup>いちい</sup>になります。

兄は、京都へ行く度に、友だちの家に泊<sup>と</sup>まります。

バスが角を曲がる度に、ゆれます。

わたしは、マリアさんをパーティーにさそう度に、ことわられています。

10 お茶でも飲みませんか。

明日でも小林さんの家に電話をかけてみましょう。

あしたは新宿へでも行きましょうか。

この本は弟にでもやろうかと思っています。

11 どうしたんですか。

ちょっと頭が痛いんです。

マナさんは昼ごろ来るって言いました。

「JR」って何ですか？

その子は「お母さんがいなくなっちゃった。」と言って、泣いています。

ジュースは全部飲んじゃいました。

うそを言っちゃだめです。

病院の中でさわいじゃいけません。

これはわたしのかさじゃありません。

頭が痛いんじゃないんです。おなかが痛いんです。

外ではたばこを吸ったってかまいません。

明日は休んだっていいんです。

父は新聞を読んでるし、母は料理を作ってます。

ここで待っててください。

先生はここのホテルに泊まってらっしゃいます。

\* 行って(い)らっしゃい。—— 行って来ます。  
—— 行って参ります。

ただいま。—— お帰りなさい。

もう少しいかがですか。—— もうけっこうです。

ごちそうさまでした。

• れんしゅう

1. れい となりのへやにだれかいます。

となりのへやにだれかいるようです。

1) そとは気がふいています。

---

2) ションさんは少しやせました。

---

3) この子はまだ話せません。

---

4) このさらはあらってあります。

---

5) このくつしたはじょうぶです。

---

6) あの人はがきらいです。

---

7) これはジョンさんのうわぎです。

---

8) この万年筆のほうが書きやすいです。

---

2. れい みんなもう出かけました。

みんなもう出かけたらしいです。

1) あの人はうたがじょうずです。

---

2) かぎをおとしました。

---

3) あの人は試験ができませんでした。

---

4) あの人はまだ昼ごはんを食べていません。

---

5) あの人はまだ結婚したくないです。

---

6) これはたいせつなしゃしんです。

---

7) この音楽家は有名です。

---

8) あの人の子どもは大学へ行っています。

---

3. れい

あの人はどうして来ないのですか。

用事があるのだそうです。 (用事があります)

1) あの人はどうして来ないのですか。

---

(かぜをひきました)

2) あの人はどうして来ないのですか。

---

(おなかが痛くなりました)

3) あの人はどうして来ないのですか。

---

(今いそがしいです)

4) あの人はどうして来ないのですか。

---

(おとうさんが病気です)

5) あの人はどうして来ないのですか。

---

(病院へ行かなければなりません)

・ あたらしい ことば

- 1) ・ お宅<sup>たく</sup> ホー<sup>ほ</sup> ; ムシツク<sup>むしつク</sup> 初め<sup>はじ</sup> おく<sup>さま</sup> ; 様 おじょう  
様<sup>さま</sup> / 家具<sup>かぐ</sup> 一位<sup>いちい</sup> 息<sup>いき</sup>  
・ いとう  
東南アジア<sup>とうなん あじあ</sup>  
・ げつまつ<sup>げつまつ</sup> ; 月末  
・ 「を」訪問<sup>ほうもん</sup> 「に／と」約束 「に」おじゃま 「に」  
感しん<sup>かん</sup> かんぱい

2) 「に」うかがう 「と」おっしゃる 「に」なれる 「を」  
 なさる あがる 「を」<sup>め</sup>;召し<sup>あ</sup>;上がる 「食事<sup>しょくじ</sup>を」いただく  
 / 「を」<sup>お</sup>;御らんになる 「へ・に・から」いらっしゃる  
 「に」おる 「と」<sup>もう</sup>;申す 「を」いたす 「へ・に・から」  
<sup>まい</sup>;参る 「に」<sup>か</sup>;勝つ 「に」<sup>ま</sup>;負ける 「息<sup>いき</sup>を」する  
 ゆれる 「を」ことわる

3) うまい すごい

4) すっくり やっぱり こんなに この次

5) (行<sup>ぎょう</sup>か)れる お(かけ)ください (来<sup>き</sup>た)ばかりだ (そう)ら  
 しい (関<sup>かんしん</sup>心) なさる お(作<sup>つく</sup>り)になる (上<sup>じょうず</sup>手)なんです /  
 (運<sup>はこ</sup>んで)まいる (して)おる (食<sup>た</sup>べ)ちゃう (飲<sup>の</sup>;飲)じゃ  
 う (書<sup>か</sup>いて)てる (読<sup>よ</sup>;読)でる (し)たっていい (休<sup>やす</sup>  
 ん)だっていい ~じゃない

6) っ(言<sup>い</sup>う) (読<sup>よ</sup>む)度<sup>ど</sup>に (会<sup>あ</sup>った)の (お茶<sup>ちや</sup>)でも

7) ひさしぶりですね お楽<sup>らく</sup>にどうぞ じゃ ごちそうさまでし  
 た もう少<sup>すこ</sup>しいかがですか もうけっこうです ただいま  
 お帰<sup>かえ</sup>りなさい うん / ;行<sup>い</sup>って(い)らっしゃい 行<sup>い</sup>ってな  
 ります

8) (先生)<sup>せんせい</sup>方<sup>かた</sup> (～)けど

## REFERENSI

- Japanese Language Center for International Students, Tokyo University of Foreign Studies. 2002. Chukyu Nihongo Goi, Bunkei Reibunshu. Tokyo : Bojinsha
- Japanese Language Center for International Students, Tokyo University of Foreign Studies. 2002. Chukyu Nihongo Bunpou Renshucho. Tokyo : Bojinsha
- Tomomatsu, Etsuko, Miyamoto. Jun, Wakuri, Masako. 2008. Kamus Pola kalimat dan ungkapan bahasa Jepang. Jepang : Arakuru